男女貞潔之理想　會長　島田三郎

公娼廢止之主張　副會長　安部磯雄

5—799

廓清

明治四十四年八月一日創刊
大正七年十一月一日第三種郵便物認可
（大正九年十月十日印刷）
（大正九年十月十日發行）
（毎月一回十日發行）

第十卷第十號

□財界恐慌に對する觀察……廓清會々長　島田三郎
□生活安定の鍵……廓清會副會長　安部磯雄
□失業問題の解決……廓清會評議員　高島米峰
□青年に對する要求……法學博士　吉野作造
□男女の生存は競爭か互助か……一條忠衞
□男と女の比較……醫學博士　永井潜
□思想善導の方策……文學博士　加藤玄智
□衞生大權と公娼廢止……水津千雲
□男女の性的教育……常盤松女學校長　三角錫子
□理想と生活苦（一）……足羽清美
□娼妓病院手記（十一）……前某娼妓病院看護婦　田口和子
□大本教に就いて……山口義緣
□編輯の後……圭英生

東京　廓清會本部發行

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

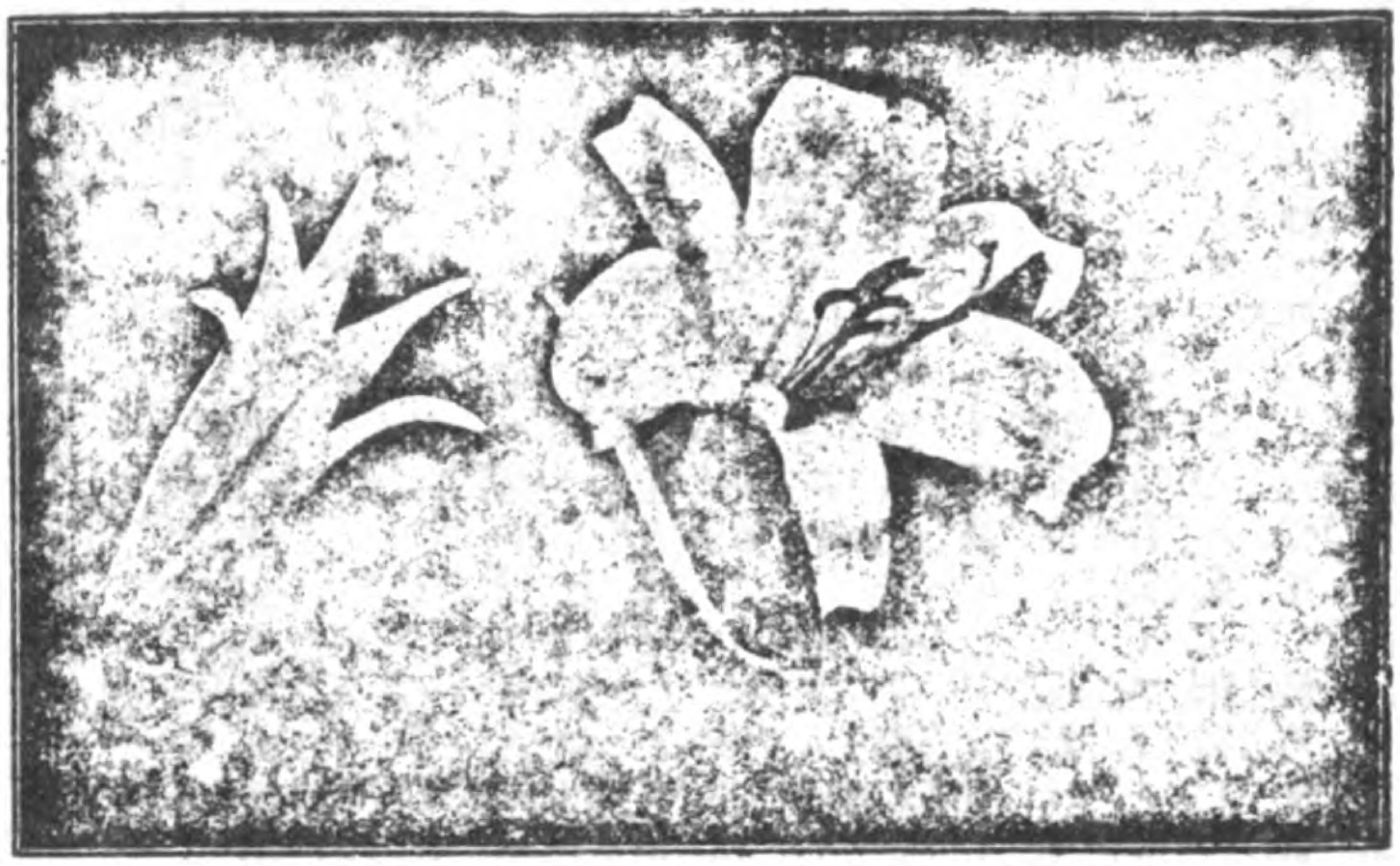
ライオン歯磨
ライオン歯磨は豫て御承知の如く、世界衛生品檢査の最高機關たる倫敦衛生試驗所に於て嚴格なる審査の結果、歯磨としての理想的條件を具備するものとして、名譽ある『合格證明書』を下附されました。
斯くの如くライオン歯磨の品質の純良と効果の優秀とは、最早世界的に承認されたのであります。ライオン歯磨の有する清掃・防腐・殺菌・制酸・收斂等の化學作用は茲に明かに裏書された譯であります。何卒十分の御信頼を以つて、ライオン歯磨を愈御愛用の程を願ひます。

廓清

THE PURITY

第十卷第十號

大正九年十月



財界恐慌に對する觀察

廓清會長　島田三郎

□危機は滿盈の時に兆せり

社會の觀察は、一難來る毎に悲觀すれば氣を沮喪する。若し是を反省して實際の經驗と觀れば大なる敎訓となるのである。大正三年に我國が日英同盟の義によつて斷然聯合國の味方として、獨逸を支那の一角から驅逐した時は、國として世界に歡迎せられた。日本は僅に山東の一角に兵を用ゐただけて、其他は軍艦を東南洋に出動せしめたのみであるが、日本の力によつて英領が安全を得たと感謝せられる程に、勞少く功が多かつた。其上、歐羅巴は經濟上非常に逼迫して諸物貨の缺乏を告げたから、日本は勞すること少くして利すること莫大であつた。國威は揚り、國力は增し、未曾有の快感を漲らしたのである。若し此の場合に於て、日本が眼を一段の高處につけ、將來の運命如何を考へるだけの要心があつたら、其の結果は得た處の利益を保全するのみでなく、揚れる國威を持續するのみでなく、更に一層の發展を遂げて、極めて有利の結末を得たてあらう。然るに塵り茲に及ぶものなく、極めて少數の識者が頻りに警告を與へたが、滔々たる多數は耳を傾けず、特に政治の實力を握れるものが、此の要心を缺いた爲めに危機は此の滿盈の時に兆したのは眞に遺憾である。

實力より以上多分の利益を得ることは、決して安全でない。當然の程度より以上の榮譽を得ることは、永續すべきものでない。其の得たる榮譽に意滿ち氣驕り、其得たる利益は驕惰と放逸とを孕んで、社會の根柢に大なる缺陷を含んで居つた其始めに當つては稍々謹愼の心もあつたが、時を經

るに從つて次第に驕慢放逸倨傲自負が長じて、警戒反省の心を失ひ、識者の言葉を無益の杞憂となし、消極的臆病の態度と嘲り、全く精神的緊張を缺いて、物質的飽滿に醉ふこととなつた。

□西南戰後に於ける反動

敢て經濟の書を播く迄もなく、海外の例證を擧ぐる迄もなく、實際經濟上の變化だけて日本の過去に得た經驗を考へれば、直に戰後の警戒は出來た筈である。明治十年の戰亂に、多額の不換紙幣を出して軍事の使用に充つるや、物價は騰貴し、外觀に繁榮の盛況を呈した。當時未だ金貨本位の制度確定せず、橫濱には銀の賣買所があつてこれて相場をなす取引所もあつた。不換紙幣增發の結果輸入は增加して硬貨の濫出となつた。硬貨に對する紙幣の相場が二十餘錢の差を現はした。消費者は物價の騰貴に困難したが、商賣人は景氣のよいのを喜び、農家は米價や土地の騰貴したのを喜んだ、其結果投機が盛んとなつた。何にしても硬貨の外出甚しき爲め早く通貨を減ぜねばならぬとの政策を立て、明治十五年から不換紙幣を減却して、十八年に全部を消却したら、物價は下落し都鄙を通じ、不景氣となり、その反動に困難した。是が政費節減民力休養地租輕減の叫びとなつて、政界を動搖せしめ議會開會前の政界は專ら此の經濟政策が論議の焦點となつた。この變化の爲めには社會も動搖し、破産が續出した。是に伴ふ各種の弊害が現はれた。一家の離散、夫婦の離別、疾病、自殺、各種の社會的弊害が經濟の困難に隨つて人氣を陰鬱ならしめ更に興奮せしめた。

□日清日露役後の反動

同じ經濟的現象と社會的困難は二十七八年の日清戰爭に伴ふて現はれた。此の戰爭の結果、一億五千萬圓の償金を取り遼東還附の爲めに別に三千萬圓を受取つた。これが爲めに一時經濟は繁華の外觀を呈したること、恰も西南戰爭の後と同樣てあつた。而も前例に懲りずして警戒を怠り、社會が輕薄に此事情を看過したから、政治に於て政費の膨脹となり、經濟に於て物價の暴騰となり、其社會に於ては西南戰役と同じ弊害を繰返した。若し十年の戰後の事を回想して豫め防ぐだけの要心があつたら、國力を消耗し國民を脅威する現象を呈しなかつたてあらうが、惜しむ可し當時も此要心を缺いた爲めの險惡なる報酬を得た。其後十年、日露の戰爭に於ても亦同樣の現象を見た、同じ假幻の繁榮が現はれ、反動時期に入りて慘憺たる光景を現はした。

□潮の去來と漁利の時期

六ケ敷い經濟學者の論を聞くに及ばぬ、海外の實例を引くにも及ばぬ。殷鑑目前。唯十年二十七八年三十七八年の事歷を覺えて居つたら、最近に現はれた世界戰爭に於ても同じ社會的現象を豫知して警戒を加へ得た筈てある。人間は悧怜のやうて、利益を得るに頗る賢なるものゝ樣てあるが、存外健忘性て、存外昏愚なる者てある。

最近世界の大戰爭に於て

如何にして前の手近き三回の經驗を考へるだけの要心を缺いたのであらうか。

潮は毎月月輪の地球に對する運轉距離によつて去來消長する。潮の去來は一定の規則がある。潮の去つた時に貝を拾ひ其貝を得るのに心を奪はれて、一定の時に來る潮の要心を失つて往々溺るゝ小兒がある。人は是を聞いてあまりに無知識無要心であるといふが、一般の多數の人々は、利益に對して其の恒心を失ふこと、恰も潮の定まれる時に來るのを思はずして、貝を拾ふの利心に溺るゝのと餘り差のないのは、冷靜に考へる人から見れば寧ろ不思議に思はれる位である。

□樂觀論者今は如何

されば前途を見切るだけの識見ある人は、世界の勢に驅られて日本が餘りに狂氣的に經濟の要心を缺くのを危險だと豫言した。言論に文章にも相當に此說が世に發表せられた併し俗界の狂瀾は防ぎ止める事は出來なかつた。却つて是等の論者を臆病者の如く是等の議論を消極的空想だと冷笑した彼等は曰く、今回の戰爭によつて日本の經濟の膨脹したのは日淸日露の場合と違ふ、日淸の場合には費す處多くして償はれる處が少かつた。正味の利益は日本に少かつたのである。日露の戰爭には內外債を以て戰費に充てたから經濟的正味の利益はなかつた。惟一時通貨を撒布したのみであるから、日本の富を增加したといふことは出來ぬ。之に反し今回の戰爭は日本の品物を多く海外に出して、數十億の金貨が日本に這入つた。現に其爲めに多額の物品を輸出し之に對する純益は正味の獲物である。是を土臺にしてゐるのが今度の景氣であつて、前の例とは餘程違つてゐる。前の如き反動は來らない此機會を利用して盛んに事業を擴張することは、國力を增加する最良の經濟策である。是が積極的經濟策であると天下に呼號した。此の放漫なる膨張政策によつて、物價は非常に膨脹した。賣れば儲かる、作れば賣れる。黃金の雨を社會に漲らすと歡喜の情に良心を奪はれた。

□物極まれば自ら變ず

斯くして危險が目前に迫まるも感ぜずして馬を山の頂上に乘上げた。併し經濟の定則は物理學の定則と少しも違はぬ上る處迄上れば下らねばならぬ。物極まれば變ずと冷靜なる豫言者のいふた如く變動が來た。これが本年三月以降に現はれたる反動である。是は人爲を以て防ぎ止むることは出來ぬ輕薄なる政治家は積極的財政策なりと呼號して過去に此の禍を大に釀發せしめて、此の禍の發するに對しても、救濟の方策を立てたから憂ふるに足らぬと放言してゐる。根本の疾患に治藥を投ずるを知らずして、外用の賣藥に病苦を除き得るが如く考ふるは常路の大臣である。經濟上の定則は一定の軌道を歩んで進行し、一時四千七八百圓迄上つた生糸は一千圓近く迄暴落することゝなつた。そこで政府に向つて千二百圓で保證をつけて欲しいといふ者もあり、千五百圓迄にして貰ひたいといふ者もあり、是が爲めに或組織を立て千五百圓迄の救治の方策を立つることゝなつた。其他紡績絲、銅、鐵、砂糖、是等の類にも同じ救濟の方法を立つることに苦心して

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

或程度迄着手した。併し乍ら之は或種類の品物に限り、而も其中の或種類の人に限っての救濟てある。それも根本的てはなく一時の破綻を防いて目前の憂を緩和するに過ぎぬ、一般の暴騰が一般の暴落となって前に過度の利益を占めた者が又過度の損失て苦しんてゐるのが今日の形勢てある。

□慘膽たる反動の悲劇

利益ある時代に得た處の者は、人心の驕慢を生じて其の得たる利益は生活費の増加に濫費せられた。生活費の増加と云へば尚可なりてあるが、別莊となり、妾宅となり、虚榮となり、放逸となり、亂行となって社會の風紀を害する費用に浪費せられた。村落に至る迄金側の時計や指輪が流行した。遊行場の繁昌は人の耳目を驚かした。健實なる旅行者は普通の値を以て旅行することが出來ぬ程の迷惑を蒙った。定規の給料に生活するものは無能なる痴呆の如く取扱はれ、精神的活動者は必要なる衛生の費用も出せぬ。健實の民衆が其子女に當然の教育費を支給するに乏しきを告ぐるに至った。要するに物價騰貴の間に教育も衰へ、宗教も振はず、健康の設備も整はず、眞に國民の身心を健全にすべき費用は、不健全なる經濟の膨脹時代には、却って窮迫し困難した。一度反動が來って驕慢放逸の夢が醒むるや、其當時に得た利益を失ふのみならず、其以前に持てる財産迄失ふてなほ不足を告ぐる慘憺たる形勢を現じた。作れば賣れ、買へば儲かる時代は、根據なく經驗なく才能なく信用なき者も爭ふて泡沫會社を濫設して、直にプレミヤム附の株となるから、會社流行の時代は毎日、新會社の新聞廣告欄に滿載せらるゝ有様であった。何の見すへもなく、確實なる計畫の研究もせず、株を買へば儲かるといふ思想に囚はれ、殊に農村ては利益を皆之に投じ、株券を握って富が増加したとの歡喜に滿ちてゐた。その夢が一度破れて米は下り、養蠶は損失し、桑畑の利益の見込も立たなくなった、是が一般に如何なる影響を與へたかといふと、先以て繁榮の時に米桑の値段が高かったから、高價の肥料を注文した。然るに其肥料の到着する頃は物價が下落して其他の必要品を買入れる力もなく破約して肥料の取引を謝絶する。そこて肥料は引取手なく倉庫の中に於て賣捌く道なきに苦しんてゐる、處が賣捌かねば其代價を銀行に拂込むことが出來ぬその内に肥料は下る、金利は積るといふ有様てある。製造工業に於ては注文の機械が續々到着する。現在の生産品さへ賣れぬのに、新に機械を入れても賣れる見込がない。機械の支拂が出來ぬ。注文者は手附金の損耗となり。機械を取寄せたる商人は違約の爲めに其機械のやり處がない。船成金も鐵成金も、銅鐵生糸綿糸砂糖商も、皆窮境に陷る京濱阪神の富豪は倒産相次ぎ特に上海方面に於ては銀貨の慘落が一層の損失を與へて總敗軍の悲劇を見、各地の銀行も皆戰に恟々たるものは實に經濟界の現況である。

□今日は未だ恐慌の初期

併し乍ら是等の悲劇は尚此恐慌の初期に過ぎぬ。今後賣るものは賣れず、拂ふ可き値段は拂はれず、愈々精算して是を確實にする時が來れば、如何なる慘狀を呈するか眞に寒心

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

に堪えぬ。何を以て初期といふか、今は會社や大商人の困難であるが、まだそれより以下の者に此の困難の眞相が響いて居らぬ。如何なる大商人でも自己の資本だけて商賣はせぬ。信用を利用して銀行から借り出して是を資本に應用してゐる商品を抵當として銀行から金を借りてゐる。然るにそれが多くとも四割がけ位いに抵當として居る然るに其或者は三分の一位に下落したから、其抵當を處分すれば銀行の損となるから處分に躊躇し、暫く債務者の恢復を待たうといふので、整算をせずに帳簿の上で空の金を握つて居るといふ。前途の處分案に苦しんてゐる時期である。けれども之は無期限には待てぬから今後整理の時期に入れば、商人破れるか、銀行大なる傷を負ふか、何れ相共に傷手を蒙ることとてあらう。

そして此響きが一般商人の上にかゝつて來る。今現に初期てすら或會社は解散する、或製造工場は閉鎖する。其結果は失業者の現出てある。此の數年間經濟の膨脹の爲めに商工業の教育を受けて、商工業に其能力を献じた人が、此變化によつて其社會より驅逐される。是は教育ある勞働者てあるが、如何に前途の活路を開かんとするか、苦悶思ひやるべしてある。

今日は唯沈衰の狀態てあるが、其極は變態の活動を生ぜざるを保證することが出來ぬ。如此にして社會組織に影響を及ぼすに至るてあらう。筋肉勞働者に其困難が波及するとも必然てあるが、廣き意味に於ける勞働者の中には、精神的と筋肉的との二種あつて、生活の脅威は二者とも之を受けねばならぬ。此點に於ては曩に經濟的の膨脹を警戒したる識者は今後を極めて痛憂するのてある。

□經濟の道德に及ぼす影響

困難は勿論、直接には生活の問題てあるが、間接には之が道德の上に及ぼすこと、之亦憂ふべき大問題てある。信約を守る事、一家の安寧を維持する事、子女を教育する事、社會の進歩を圖る事、前途の希望を有する事、是等は皆社會を平和にし、且つ進歩せしむるに要する道德的思想てある。然るに經濟の破壞は直接に生活を脅威して其結果此等の道德的思想を弱めるは必然てある。支拂ふ可きに支拂はぬは甚だ汚辱てある、と感ずる道德心は、經濟的切迫の爲めに、顧る暇がないから破約が續出する。後來に善良なる子弟の養成を考慮する暇がないから、一家に於ても教育の萎微するは必然てある。自己に餘力があれば社會を益する公益心も出るのてあるが、餘力なくして社會の公益に盡すことも出來ぬ。更に低き人は他の衣食を奪つても我の必要を滿さねばならぬと迄、其品性を墮落する。宗教的方面も之が爲めに不振に陷るてあらう。更に一家のことを思へば經濟の混亂によつて種々の破綻が起る。近時新聞の三面を見ると、自殺の多きこと、心中と稱する窮死の多きこと詐僞、逃亡、離別、此の種の社會的團結破壞の行爲が續々として現はれる。眼には見えぬが、一般の神經を刺激して、更に進みて所謂神經衰弱の害を受けて居るものが如何に多いてあらうか想像に餘りある。衞生上にも適當の豫防が行はれぬ。法律に現はれぬ迄も詐僞的の行爲が如何に增加するてあらうか、擧げ來れば社會の組織を紊る

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

べき種々の事件が經濟の攪亂より續出すべきを疑はぬ。之を要するに物質的繁榮は、其根底を健全なる思想より發し來らねばならぬ。今に於て我國民は眞面目なる努力によつて、根據ある繁榮に目覺めねばならぬ。目前の慘害は極めて苦痛であるが、若し之を苦き經驗と見、眞の覺醒により努力によつて其禍害を除去し、後來に眞平の繁榮を生ずることに鋭意し、それが集まつて國威の發揚となれば、新時代の展開し來るは必然である。されば吾人は今日の反動時代に對し、浮薄の心を以て見ることなく、卑怯の心を以て此の慘禍を見ることなく、眞面目の心を以て天が訓誡するものとなし、數年來の經過を深刻に研究せんことを望むものである。

財界變動我觀

足　羽　生

往年通貨澎脹の影響を受けて、物價が異常の騰貴を示して我々の生活を脅威した時、世の多くの識者、學者等の多數は高橋大藏大臣の無能を責め、通貨の收縮を絕叫したけれども、當面の責任者たる藏相は啻に之を笑殺し、風馬牛視して更らに顧みなかつたのみならず、物價の騰貴は世界の大勢であると言つて、その收縮を捨てゝ（後日に到つて計つたが機逸して後の謀は何の效果がなかつたのであつた）放漫なる財政策を行ふて、國民生活の危機を釀したのであつたが、現在に到つても猶且り藏相の胸奥は到底計り知るべからざるものがある。

今春來、好景氣の反動を享けて經濟界の恐慌は襲ふて來たのであるが、その當時矢張り當局者等は之れも世界の大勢であると放言してゐたのであつた。そして漸く喧しからんとする輿論の潮流を、國勢調查に誘引してその鋒先を巧妙に避けて一時逃げて仕舞つたのである。けれども事實は之れを抹消することは不可能なかつた。即ち一度經濟界の恐慌來り、惑亂を生じて以來、好景氣時代に拜み倒して引張り込んだ傭人を、恰も弊履を捨つるが如き態度で馘首することが、頻々として隨所に傳へられて居るのである。輙ち今ま逼迫して居る生活を自己の對面を保持するため、餘儀なく能ふ丈けの辛抱をして耐えて來た俸給生活者等は、明日の食を奪はれなければならない由々しき危機が到來したのである。而かも政府は之れに對する如何なる抱負があるかは甚だ疑惧なきを得ないのである。之れをしも世界の大勢視しはしないであらうか。

資本家等の到潰は、それは一時の好景氣に醉ふて心氣の上騰して居たのが漸く醒るべき時期が來たのであつて、彼等の投機的射倖的陋劣なる心理の反映であるから、それは恰も兒童がシーソを遊んで、一時高く昇つて居たのが反對に低く降りたのと同じであつて、歡喜して登る丈け登り詰めて浮かれて居たのが極點に達した爲めに降りて一方の不景氣が顯れ來たのであるから何の不思議もない。彼等は一時的にもせよ高い所で社會を眺めシーソを弄んだ丈け愉快をしたのであるから遊び得をした譯であるが、それを羨ましそうに傍觀して居た被傭者等がその板の下敷きになつて想はぬ迷惑を蒙つたのは慘酷である。怎うしても下敷になつた傍觀者の始末は、シーソを弄んだ資本家等の責任であるが、惡戯をした時兒童が責任を他に轉嫁して逃げるが如き態度が動もすれば此の資本家等に觀ゆるのは洵に遺憾である。若し我々が他人に假令過失にもせよ負傷させた場合には、當然責任を負はなければならないことは法律に規定されてある。けれども上述の場合の負傷は而かもそれが本人のみに止まらず一家を擧げての活殺問題である丈け重大であるのに係はらず何んの規定もないと謂ふことは確かに法律の不備であるといふことも到底免がれ難い事ではあるが、如何に規定が無いとしても若し彼れ等が昇り詰めた時、當然拂ふべき注意を怠つて生じた結果に對する責任を回避するならば、勿論良心の存在は疑問であるのみならず甚だ卑劣なる動作であると謂はればならぬ。

所處て當局者は如斯き横暴專恣なる資本家の壓迫に依つて萌さるゝ被傭者等の不平の如何なる方向に赴くべきかを深測して、從來の財政策の如く一局部の便宜策に捕はれて放漫に陷らず、その對策を誤つて杜撰に流れざる様留意すべきである。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

生活安定解決の鍵

經濟會副會長
早大教授　安部磯雄

□生活安定の要

經濟界の變動といふ事は、今までにも度々あつたことであるけれども、今度の變動は、今までの變動よりも最も甚だしいやうに思はれる。餘まり戰爭中景氣が良かつたのであるから、今度恁麼風に變動すると、餘程對照が甚し過ぎ之れに苦痛を感ずる人が尠なくないやうである。

多分如何なる階級の人も感じた事であらうが、實際人間といふ者は、生活の不安といふ事があつては少こしも油斷することが出來ない、何んとなく人生が恐ろしくなつて、生活といふものが恐ろしくなつては之れは精神上にも大なる打撃である。恁ふいふ風では人間は益々物質的になる、

精神的であるとか、宗教的であるとかいふやうなことは第二であつて、先づ吾々は第一に生活の安定といふ事に就いて考えなければならない。开うしなければ人心に惡影響を及ぼすやうになると思ふ。結まり經濟界の變動に對する私共の平素の覺悟といふことに就いて考えなければならない。

□個人としては修養

凡て恁ういふ問題を解決するには、極く手近な應急策とそして、根本的な解決と二つの方法がある。

若し個人一人一人が怎したなら生活の安定を得られるかと姑息に應急的に間に合はせに考えるならば、自分が平常出來る丈け儉約をして貯金をして置くより外仕方がない。平常から貯金をしたり、保險をしたりしておくより外個人としては考えやうがないと思ふ。

若し物質的に貯金が出來ない場合であるならば、一方には修養を爲して居るといふことも一つの方法である。

修養とは生活といふものゝ程度を時々變動してゆく事が出來るといふやうにするのである。夫れは不景氣に對して必要である。若し經濟界の變動があつて不景氣が永く續いても、金が無いから虛榮は一切止める、資産家と同じやうな世間並みの交際も止めるやうにして、唯だ自分の家が生活をしてゆく、生活も生命を持續してゆくといふことに專ら心を注いで冗費を節くのである。开ういふ修養が出來て居るなら、不景氣の難關を切り拔くことも容易い。

□不完全な經濟組織

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

個人ては今述べた貯金をしておくか、生活を切り詰める修養をするか何方かにゆくより外はない。然し私は個人的の事を考えるよりも、最少し社會的に此の問題を考えて見度い。

第一に私達の心に浮ぶことは、恁ういふ變動は免がれる事が出來ないか、天然の不可抗力であるか或は人力で何うでも出來るか、恁うか其處まで徹底してゆく必要がある。

私の考えては經濟界の變動は決して不可抗力てはない。而己ならず、全く人力を以て取り除く事が可能る。それは容易てはないとしても經濟界の變動といふ事は決して不可抗力てはない。それを最少し詳しく述べることゝする。

現在の經濟組織が甚だ不完全に出來て居る。此れを例を擧げて言ふならば、非常な惡い道の上を大八車が通つて、而して私共がそれに乘つて居る樣なものだ。それて大八車は惡い道路の上をガタ〱と止み間なく動搖て、私共は一時も不動しては居られない。車が惡いのだから私共の體軀の震動は免がれぬ。今の經濟組織が恰度夫れてある。

一面から言ふならば少しも秩序が定まつて居ない、戰爭て謂ふなら烏合の衆てあつて、全く統一のない賣り買ひをして居るのてある。統一がないから動搖があるのてある。若し軍隊のやうに數百數十の軍隊が同樣になれるやうになれば、經濟界の變動といふものがない、之れを痛切に感ずるのてある。變動を感じるのは組織が不完全てあるからだ。組織が不完全てあつても之れを統卒する人物があればよいが、若し統卒者が降參しては進ます事が出來ない。

指導する政府當局者なり、經濟界の大立物は亂暴を極める何故亂暴を極めるかといふと、彼等は投機的相場心を持つて居るから、經濟界變動の時に或る階級のものが思はぬ利益を占める事が出來るから、其處て彼等は經濟界の變動を防止するよりも、寧ろその來る事を助長するといふ形嚮がある今度の不景氣も確かにそれてある。

□有産者便宜策

段々物價が騰貴して來ると必ず實業界といふものは景氣が良くなる。其處て戰爭中に於ける日本の經濟界はジリ〱と物價が騰貴して來て景氣は良くなつた。恰度酒呑みが小さな盃て些滴々々と呑んて居ると、次第に陽氣になつて何んとも言へない良い氣持ちになつたのと同一て、實業界は陽氣になつたのてある。

政府當局者は物價騰貴は、俸給生活者は困まるかも知れぬが、一般社會は景氣が良くなつた、商業は益々旺んになり製造工業も盛になり、百姓は米價が騰貴して皆なが喜んて居るのだから多數が幸福を得れば結構だと謂つて辨解し、外から何んと言つても物價の引下政策を取らなかつた。

米價が騰貴して喜ぶのは百姓の內でも大農と自作農ばかりてある。小作人などは決して喜んては居ない、小作人は自分の食ふべき米も買はなければならないのてある。

景氣が良いと言つても勞働者などは喜んては居ない。成る程賃金は昻つたが、物價の騰貴したほどに上つて居らないのだから決して喜ばぬ。勞働者といふが勞働者の內には俸給生活者が中々多いのてある。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

□經濟組織の改造

政府が物價騰貴の對策を捨てた事は確かに有產階級の便宜を計つたのである事は明白なことてある、今の政府は有產階級の機嫌を害ねんやうにすればよいのだから、其處て酒の二日酔になつたやうに有頂天になつて居た實業家も大打擊を蒙つた。

然れど中には此の變動最中に乘じて儲けた人々もあるだらう、或は政府關係の人々にはあるやうてある。

恁麼風に考えて見ると、經濟界不安の救濟は根本問題を怎うしても考えなければならぬ。根本的解決をせねばならぬ。第一は經濟界組織の改造をして、而して恁ういふ變動の無いやうに、物の高低のない若しくは、有つても極く僅かて三四割などゝいふやうなことのないやうな組織にせねばならぬてとに、國民が考え及ばねばならぬ。それは不可能なことてはない、私は痛切に考えて居るのてあるから國民も痛切に考えねばならぬ。

□根本解決策

動もすれば政府當局者や經濟界の大立物が、故意に種々のことを爲すことがある。それが或る者の爲めに爲すべき事も爲さずして、經濟界の變動を助長さす事のあることが、歴然として顯れて居る。此れを何うするかといふに、それは極めて簡單てある。

現在の政治は有產階級に利益なのだから、此れを防ぐには普通選擧より外にない、普通選擧を行ふて、各階級の代表者を出して、其れが一國の政治を爲す事にすれば、幾分か今日の經濟界の變動を防ぐ事が可能る。

其處て私は根本政策といふものは、經濟的には物價の變動の無いやうにし、政治的には普通選擧の實行、此處まで進まねば到底我々が生活の安定を得る事は不可能といふことを深く信じて居る。

◇二つの對照◇

娼妓生活者が奴隷生活者であることや憐れなものであることは事新らしく言ふまでもない。山形市の多少でも血のある風な待遇と、靜岡の鬼計とを各その地方新聞紙に載せられたまゝを轉載して大方諸賢の御参考に供したい。

娼妓の慰安會

山形市内小姓町の一廓に籠の鳥同様な浮き河竹の勤めに身も心も疲れ果た人達を慰む可く昨日演藝館に娼妓の慰安會が催された、數臺の自働車は美裝した遊女どもを乘せて濕つぽい街路を會場へ勢よく走つて來た付添人樓主等集まる者凡て三百餘人、午前十時と云ふに晴れて始しい幕は切つて下された。薄暗い會場内には白粉の香がほのかに漂ふ辯士は此日に限つて生卵を吸つた樣な聲を張り上げたお伽劇的のお話が映寫され續いて血湖の鳴門が上演し終へた頃には各自持參の御馳走が開かれ悦びに滿ちた面持ちて頑張つてゐた。午後からは俠客安中草三の映寫あり續いて幻影の女映じられると場内のそこかしこからは黄色の感嘆の聲が湧く、斯くて午後四時に散會し火灯し頃めい〱の樓へ立歸つた

出願準備の新遊廓

志太郡燒津町二三の者が同町長鈴木辰次郎氏の後援を得て同町に遊廓を設置すべく出願の準備中なる事は既報の如くなるが

其後願書は同町役場書記某の手に依りて成り一兩日中に提出の運びに至るべきが五日午後五時迄に出願者として署名する者は

同町中野勇次郎氏のみ確定したるも其他は未定なれど名義人の外に隱れたる者數名ある模樣なり(靜岡)

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

失業者問題の解決

廓清會評議員　高島米峰

○此の頃宅の子供が足を磨り剝いたのを放擲ておいた爲めに其處に黴菌が浸入つて、自然に段々と大袈裟になりそれから一ケ月も經つに猶ほ治らないといふことから、自分は一種の敎訓を享けたのであるが若しその子供の受けた瘡傷が顔か頭であつたなら決して放擲ておかなかつたらうに、而して大事に手當をしたのであらうが、何んだ足位といふ心持ちから此れを粗末にしなかつたならば、大事を惹起すやうな事はなかつたらうと思ふ。

此の顔や頭を大切にして足を粗末にするといふ事柄が、他の方面では官尊民卑の思想となりて顯はれ、男尊女卑の思想となつて表はれ、資尊勞卑の思想となつて露はれ、詰まり弱い者を苛めるといふ結果が現はれて來るのである。足と頭とを較べて足を卑しめ、頭を尊ぶといふ事にも無論意義はある。然し假りに足が無いといふ事を思つたなら、何れ丈け頭の尊嚴が維持せられるだらうかゞ考えられる。必ずしも勞働を尊びて資本家を卑しみ、國民を尊びて官吏を卑しみ、女を尊びて男を卑しむといふ事を需めるのではない。唯だ夫等のものがそれ自身の立場に立つて、對等であり得るといふことは、望ましい事である。尠なくとも弱い者があるならば、之れを庇つてやり、卑しい者があるなら之れを引き立てゝやるといふ組織が必要でもあり、幵うした思想の健在であるといふ事も望まなければならない。

○

不景氣が來たその爲めに、景氣の良い時に拜むやうにして傭つた從業員を破れた靴でも捨てる樣な態度で解傭して仕舞ふやうな態度は、恰も狡兎死して走狗烹らるといふやうなものではないか、過去に於て相當に功勞のあつた者を不用になつたからと言つて、葉書一枚で『出勤に及ばす候』は餘んまり慘酷ではないか。

勿論需給の原理から言はゞ、需要が多くて供給が少なければ相場が高く、夫が逆になれば相場が下るといふ事は當然である、勞働が商品であるかないかと謂ふ事は別問題として必要に依つて傭い入れた者を不用の場合に解職する事は、物價の高低と同じ意味に於て聊かも不思議とするには當らない。一つの會社で總人員の一部分を解職するといふ爲めに問題が起るやうだが、會社が閉鎖したとなつたら勞働者も資本家も

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

倶潰れであつて、如何ともする事が出來ないのである。

一部解職の場合は何を標準にして之れを決するかと言へば常識的に考えて、先づ不親切な不勉強な不誠實な者から解職せられる順序になる。卽ち一種の優勝劣敗であつて、生存競爭の世の中としては止むを得ない事ではないか。昨日までの成金が明日は成貧になつて仕舞ても、誰れを恨む譯にゆかないと同じ樣に、他のものに比較して能率が低いと認められて解職せられるのは、所謂自業自得であつて、何處に苦情の持ち込み樣もないではないか。

唯だ、然し社會では左うした失業者を自業自得だとして見殺にする譯には往かない。其處に所謂社會政策の確立が必要であり、實行が急務であるといふ理由が存するのである。

○

勞資協調會とか、勞働運動者とか謂ふやうなものは、只だ勞働爭議の仲裁や、勞働者の煽動などをして居るといふ事よりは、寧ろ失業者の始末を怎うするかといふことに向つて、平常から十二分の研究と要意とが無くてはならない筈だ。

一部の勞働運動者などは素より言ふに足らない、景氣の良い時には勞働者を煽動して勞働者の賃金を多くしてその過剩を取て生てゆくといふやうな、勞働者の立場から考えても獅子身中の蟲であり、社會全體の上から考えても風教を惡化させる道具といふの外何等積極的の意義を持たものではない。

勞資協調會の如く、上聖天子の御手許金を下賜せられ、下國民の義金を募つて成立した處の機關で、之れには國民全體から多大の囑望と期待とがあつたのであるが、勞働爭議の仲裁といふやうな事さへなし得ないで徒らに内部の紛狀を天下に曝露してその無能と不統一とに世人を驚かした丈けてあつて、失業者の爲めに積極的な施設を成すといふことは今日の態では殆んど木に憑つて魚を需むるの憾なきを得ない。

全體溫情主義の根本義を誤解して一笑に附して來た勞働者なども、佛教道德の根本義たる法恩主義に基いた徹底溫情主義の立場に立脚して、勞働は資本家の爲めばかりの勞働でなく、勞働者自身の爲めばかりの勞働でなく、社會の爲めの勞働であり人類全體の爲めの勞働である事を自覺して如何にして勞働の中に淸新なる生命の躍進を求むべきかに考慮一番せば假令解職頻々として行はれても夫れ自身は最後の一人たる事が可能るてあらう。

資本家も亦此の徹底溫情主義の立場にたつたなら、足を粗末にするといふやうな弱い者蔑めは出來ない筈であつて、頭も手も皆平等に之れを愛するといふ事になつて、怎うしても足を斷らなければならないといふやうな場合になつても、唯だその足を捨てるといふことをなしないて、その足の始末を何んとか付けるといふ事に向つて考慮をせずには居られない筈である。卽ち、解識するが解識された者がその日から直ちに路傍に立つて、食を乞はなければならないといふやうな無慈悲なことは到底出來ない筈である。之れを要するに、失業者の生ずるといふ事は到底避くべからざることであつて、唯だ如何にして夫等失業者の生活を安定ならしめるかの問題である。勞働者の心得とか資本家の心得とかいふやうなことは略ぼ上來の所說で竭きて居るが、その上に社會政策として勞働保險の如きその他種々なる施設が學者によりて論及されて居るのであるから、夫等の内最も日本の國狀に適し、日本勞働者に適切なる事業が企てられるならば、徐々として失業者問題の解決が就くべき筈である。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

青年に對する社會の要求

法學博士 吉野作造

＝回社會奉仕の二條件回＝

青年諸君殊に高等教育を受けて居るところの青年は、如何なる時代に於ても特別の要求があらうと思ふ。殊に今日の如く複雜なる時代に於ては、社會は何事かを青年に要求し、何事かを教育ある青年に俟つところが多いだらうと思ふ。即ち、逆に言つて今日の社會に於て、青年に時代が何を要求するかを潜越ながら私が諸君の代表者として、若くは私も青年の一人として考へた事を述べて見度い。私共が社會に貢献せんとして考えて居ることは、諸君の參考ともなり否或は諸君の同感を得ることが可能ること、思ふのである私が今の時代に幸に高等の教育ある青年として、社會に貢献せんとする爲めに二ツのものを持つて居る。それは第一には人生の眞實に達する聰明を開いて社會を指導するのであつて而して第二には道德的青年を涵養して新らしき社會を建設するのである。輙ち私共は、今日の社會に立つて、頑冥固陋の舊思想と戰つて新社會の建設に努力を致さねばならないのである。

＝回不聰明な遣り方回＝

聰明を開いて社會を指導するといふ事は、我々國民殊に我我高等教育を受けて居るところの青年の、社會に奉仕する上に於ける重大なる責任である。實に現代は、諸君並に我々に向つて聰明と道義を要求して居るのである。

聰明と言つても、單純なる悧巧馬鹿といふ悧巧ではない如何いふ點て今日の社會が聰明を缺いて居るかといふに、今日起つて居る大本敎なども馬鹿てはない筈であるが、或る聰明を缺いて居る。开ういふ馬鹿は馬脚を露はすものは澤山ある一體人間は、自分は自分の考える程悧巧ではない、社會は自分が信じて居るほどに自分といふものを偉いと認めては居らないといふ事を考えて居れば大體間違はないのであるが、怎うもその反對に人の心理は馳り易い。

私は政治學を專問としておる關係上、國際問題に就いて考えて見るに、朝鮮の統治、對支外交などにも开ういふ事實を屢々見受けるのである。寺内々閣の時なども對支借款とか言つて何億といふ巨額の金を支那へやつたそして、當局者はその交換に何々の利權を得たとか何んとか言つて居るが、それは西原某といふ人を中介にして貰ひ子の約束をして前渡金をしたのであつたが、扨て後の結果は何うてあつたかといふに金を無賃取られたいふやうな始末てあつたが、之れは餘ま

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

り人間を機械視し、自分を神聖視した結果に外ならぬのてあるが斯うなると何方が悧巧か馬鹿か一寸分らなくなる極めて聰明を缺いた遣り方といふべきだ。それは過去ばかりてなく今日ても猶ほ往々あるのてあるが、其ういふ間違つた觀念に支配されて、目前の悧巧て大局から見ると極めて聰明を缺くものがある。單にそればかりてはない、夫れを攻撃するものを危險思想といふ。

而して自分を賢明なるものと信じ、その程度を過ぎると終ひには自分を神聖視するのてあつて、他の忖度若しくは批評を絶對に許さぬのてある。

國際問題などには絶對に掛引があつてはならない。またそれを許さないのてあるが、結果から見て小刀細工を遣り過ぎ結まり人間を機械視して居るから愚劣な政策を行つて居る場合は尠なくない。今日の政治家などは、對局の杜撰て頗る聰明を缺く政策を行つて居た。

人情本や淨瑠璃に見えて居る「敦盛」や「菅相宰」にしても唯の掛け引きてはないのてあつて、敵味方とも道徳的理想を尊重する道義的觀念から割り出されて居るのてある、況んや今日は咄は絶對に通らぬのてある。日本て現在發行して居る外字新聞て神戸のクロニカル、ジヤパン・アドヴアータイザーなどは惡口新聞だと謂はれて居る。が政黨の機關新聞の採つて居る樣な態度て視たならば、何物でも意ふがまゝに着色せられるのてあつて、政黨の機關新聞相互の筆爭などを見ても其の事物に對する態度の如何てあるかは容易に首肯されるのてある。

實際にクロニカルやアドヴアータイザーは事實を露骨に、尤も大膽に書いて居る。けれども之れを以て直ちに惡口といふことは出來ない彼等は天職として事實を正確に報道せんとするのてあるから。然るに政府の御用を務める人々は惡口新聞と言ふのてある。けれども夫等は寧ろ未だ私よりは寛大てある。然し斯くの如きは畢竟ずるに自分を神聖視するから起る結果てある。此の狀態の改造を期する爲めには、我々は廓新を斷行するといふ勇氣と、反省するといふ憶病とが恒に伴はなければならない。

資本主義の餘弊

今日の警察組織の缺點は、法の威嚴を示したがるといふのになる。法を楯に取つて威嚴を示す之れが本當に國家の爲めには如何てあるか、其の結果は果して如何てあらうか、實にそれは不聰明な事てあると言ふべきだ、如何に多くの正しい人々が夫れが爲めに從來罪せられたか知れない。

斯の如き制度の改革には餘程の緊張を以て努力をしなければならないのてあるが此れを期待し得るものは無垢の青年てある。然るに今日の制度にあつては、青年は頗る輕んぜられて居る、即ち教育などにあつても個人的創意を發見し樣としないて、人の子を機械視して居るが、それては多數の秀才を可惜葬つて居るのてある。乃ち斯くあるから斯く「なる」といふのてなく「爲る」といふ創造力を顧みられて居ない。之れも矢張キヤピタリズムが嘗て横暴を極めた餘弊てあるが、我々の道徳的生命が原動力となつて、改造せられなければならない

自由は人間の天性

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

私の友人に或る小學校の校長をして居る人があるが、或る時その學校の子供が郡會議員の屋敷の隅に甘味そうな柿が熟て居るので子供等はそれを渇仰つてたまらない。そして遂ひに子供等は相携えてその柿の木の下に往きその實を取るべく種々考慮を廻らした、その結果小さな彼等の手からは小石がそれ〳〵一つ〳〵の目的を以て宙に飛んだのであるが、百發百外て柿の實は彼等の口を見舞はなかつた。然れども夫れが意外の方面へ流彈したので、忽ち豫期しないお小言は私の友人たるその學校長のもとに來たのであつた。

それは、その議員先生の宅に時ならぬ小石の突風が吹き込み、その客室に置かれてあつた大切な花瓶を割つたといふ事に基因する、其處でその校長の此の問題に對する態度は何うであつたかといふに、彼は決して子供を責めるやうな事は仕なかつたのである。

卽ち、石が客室へ這入つたのは甚だ宜敷ない之れは重々惡い事である。況して大切な品を破壞したのであるから甚だ以て不都合千萬なことである。然れども克く考えて見るに石は唯だ飛んで行つたのではない、それは子供が放つたから行つたのであるが、子供は客間を的に石を擲げたのではなくて美しく甘味そうに熟した柿の實が欲しくてそれを得たいが爲めにその手段としてその方法を小石に借りたのであつた。

元來人の所有物を無暗に欲しがつてそして直ぐ自分の欲するがまゝにそれを得やうとするのは宜敷ないとてあるが、子供の頭は極めて自由である。無邪氣な子供の頭には事の善惡を考慮するよりも、慾望を滿足せしめ度い衝動の閃きの方が遙かに强烈であり深刻である。善惡に係らず尤も露骨に左右に何の考慮もなく自己の心の命ずるがまゝに最も放膽に陽々たる春の如き氣分で總ての行動が直感的であるのは子供の特徴て、其處に延びんとする生命を宿して居るのであるから誰れ人もその將に延びんとするその前途を斷つことは出來ない。須らくそれは彼等に惡い機會を與へないやうに周圍は恒に考慮しなければならないのであつて、今の場合でも子供には何等の罪科はない唯だ惡いのはその柿の木である。若し柿の木が無かつたならば客間にも石は降らなかつた筈であると言つて、頑として苦情を聽き入れないのみか遂に、その柿の木を切つて仕舞つたといふ事である。

地方で郡會議員とか名譽職とか謂へば大したもので大抵の人なら頓首して居るところであつたらうと想ふが彼は實に斯くの如くして解決を就けたのである。私は苟くも教育家としては是れ丈けの自覺を以て貰ひ度いと思ふのである。

私共は凡ての事に創造力を涵養しなければならない從來の醫者は吾々の體を病氣製造機械視して居る、私どもが假りに天麩羅に食傷して臥たとするならば、醫者は我々に向つて幾日間かの休養を要求する、私共が若し一週間の宣告を受けても三日位寢て後の日數を起きて仕事をして居ても決して差し支へはない。更らに始め中毒した天麩羅を供給して見ると具合は惡くはない。それを正直に一週間臥て居るならば其處に數日間の損失がある譯である。我々人間は生きて居るのであつて決して機械ではない。それ故機械視されてはならないのであつて、或る程度までは醫者に委せるが、相當の時機を經過したなら我々は自ら生命の創造をするのである。其處に眞の生命の閃がある。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

男女問題より觀て人類の生存は競爭か互助か（上）

一條忠衛

一　人類と男女兩性との有機的關係

生存の意義　吾々が生きて居るのは生命といふものを有つて居るが爲である。此の生命といふものは、これを肉體的に見ることも出來れば、精神的に見ることも出來るものである。前者は客觀的に見た生命であつて、後者は主觀的に見た生命である。この意味から推せば、生命は二元的のものである觀もするが、一旦これを生命そのもの丶體驗から見れば、一元のものに歸して一箇の自己あるのみである。これを自我といつても人格といつても同義であるが、吾々はこの一箇の自己に於て生命の體驗を有して居る。卽ち吾々は經驗の世界に於て、生命を客觀的又は主觀的に見て居るが、その經驗を超越せる自己體驗の世界に於ては、一箇の生命價値の實在を意識するのみである。人生はこの生命の自己發展の上に、人格の理想的形式を實現せんとする生活である。

生命の實現としての男女兩性の意義　さて斯樣な性質を有する生命は、その發展の要求と恒久的持續の目的からして自我の實在に分化の作用を生じ、自己體驗の世界を切半して、その發展せる直接經驗の世界に於て、二種の對象を生じた。先づ客觀的に肉體として見ても、主觀的に精神として見ても、自我そのもの丶實在の上に、具體普遍的の人格者を生じた。一はこれを男子と謂ひ、一はこれを女子と謂ふのである。これを男女の性と稱するのであるが、差異と同一との兩方面から觀察した言葉である。差異の方面から見れば、その具體的實在に於ては肉體でも精神でも根本的に異つて居るが、同一の方面から見れば、その普遍的實在に於ては肉體でも精神でも共通になつて居る。卽ち外延に於て同一であつて、內包に於て異つて居る。卽ち普遍と特殊とを兼ね、具體普遍的實在として自我を縱斷して、必然と自由との領域に於て、生命の二大對立を爲したのが男女の性である。一例を擧げて說明すれば、個人の肉體に於ける具體的事實には二種の生殖機關があるが、卵巢を有する個人と睪丸を有する個人とは根本的に異る特殊の生命である。けれども、この二個の生命は同一の目的に向つて、その要求と發展とを持續する可能性に於て、同心一體的な普遍の生命を有して居る。これが謂ゆる具體普遍的實在と稱せられるものであつて、人のその面の異ると同

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

時に鼻目口耳の地位が同一てあると等しいものてある。

個人對人類の世界と男子對女子の世界

男女の性は上述の如き意味を有するものてあるが、これは個人の自我に於ける人格的存在の分野てある。個人の自我はその人格的境遇として男子と女子との對立の世界てある。これを單數として見る時は、一てあり有限てあるが、これを複數として見る時は多てあり無限てある。だから人間に於ける人格の單位は實に個人てあるが、その和或は積は實に男女の集合せる社會てある。それて此の地球上の人間社會に於ては、個人對人類の世界中に男子對女子の世界を包有して居るのてある。吾々の生棲して居るこの世界は、この二種の世界の和に於て存在しながら、その積に向つて進むのてある。現在に二乘し或は三乘し又は數乘する世界の到來を祈ることに於て、人生の意義を有するのてある。これが謂ゆる人類の文化的生活てあつて、自我の生命が發展する根本的要求てある。人類はこの生命の根本的要求からして、常に絶えざる努力を繼續して今日に至つたのてある。現在の文化の一切はこの自我の生命の人格的收穫てある。そして是れは將來に於ても變ることが無く、却つてこれを增大するに至るのてある。

生命の創造者としての男性個人及び女性個人

ところで右の世界觀から進んて、尙ほ男女と人類との關係を考察して見る時は實に驚くべき重大なる意義を發見するのてある。人類は一面に於ては個人の和又はその積としての生命の實在てあるが、他面に於ては男女兩性の和又はその積としての生命の實在てある。卽ち人類は個人と男女との和又はその積に等しい生命の實在に當るのてある。　別言すれば、人類は個人と個人との對立及び乘合では無くて、男性個人と女性個人との對立及び乘合てある。それて人類はこれを現在から見れば個人と男女との相對的存在てあるが、これを過去又は將來まで通覽すればその相對的存在の生物的發展てある。先づ人類の文化はその肉體的方面又は精神的方面の如何を問はず、第一義的には個人の生命の發展てあるが、第二義的には個人の生命を作り出すところの男女の生命の發展てある。　男性個人と女性個人とがその自我の人格的發展の對立に於て、人間の根本動向としての內面的要求からして、生命の和合によつて新に獨立の人格的主體となる個人を創造するのてある。

男女と人類との同心一體

この生命の創造は全く男女の性によつて行はれ、男女の對立的世界に於てのみ可能なのてあつて、人類の生命を左右する動力てあつて、唯一最大の權威てある。ところて人類は決して單獨の實在て無いと云ふことは、極めて明瞭に理解される事實てある。先づ人類は個人と同心一體の關係を有すると共に、男女の性と同心一體の關係を有して居る。人類の生命の存在及びその持續は、個人の生命の存在及びその持續を指すのてあるが、更にそれは男女の生命の存在及び持續に該當するのてある。これに由つて觀れば、人類は實に男女の性そのものと同一の生命を內容とするものてあつて、男女の性を離れて人類の存在は無く、その持續なきことは最も明かな次第てある。それて人類の一切文化は男女の性に嚴存する自我の人格的實在の發展して、具體化したものてあることも容易に想像が附くのてある。斯樣にし

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

て男女と人類との關係は密接なる交渉を有し、吾々の人格的生活の上に一個の自我として體驗されて居るのである。

二　人間に於ける生存の本義

生命の内容としての生存　人類の生命が男女の生命の中に嚴存する次第は、前述の説明によつて盡されて居るが、その生命なるもの丶内容は尙ほ不明である。人類の生命と謂ひ、男女の生命と謂ふものは抑々何であるか。これは頗る大問題に屬するものであるが、これを倫理學上より見る時は、人間に於ける生存である。卽ち人間の人格に於ける能力の存在である。詳言すれば、自己の人格に屬する肉體的能力又は精神的能力の繼續的發展が生命である。卽ち自己の人格に所屬する可能的能力を發揮させて、進歩向上する一體の活動が生命てある。これは人間として當に爲さねばならぬ人格の諸能力を、自己の境遇に順つて實現することである。卽ち萬人に普遍なる人格的生存の規範を、自己の境遇の下に特殊化することである。本然の性として享けたる人間たる所以を、その肉體と云はず精神と云はず、自己の人格の有らゆる方面に於て實現大成することてある。これを稱して人間の生存と云ふのである。

人格の理想的存在としての生存　斯様にして人間はその生存に於て、人間たる所以を繼續するものである。吾人の人格の可能性はその生存の中に實現されるのであつて、自己の生命は生存の中に樹立されるのである。それて人間の生存なるものは、實に人間の人間たる所以の本體てあつて、人格の活動を意味して居る。肉體的方面の諸能力も、精神的方面の諸能力も、生存そのものに於て發揮され完成されるのてある。そこて人間に於けるこの生存なるものは、人間の人格的存在であつて、人道の實現である。人としての理想を發揮し、その完全なる形式に向つて自己を陶冶することが生存てある。それて生存なるものは人格の理想的存在てあつて、人間の生活に於ける規範的存在を意味するのてある。卽ち個人がその人類社會の生活に於て、人道的、規約の下に、合理的の存在を形式することてある。

生存と人格の屬性　そこて生存には諸種の屬性を生ずるのてある。卽ち人格の屬性によつてその本體を規定されるのてある。先づ人格は自己存在の絶對的要件てあつて、獨立自主のものてあり、目的それ自身てあるから、何ものによつても其の自由と平等とを侵されることが無い。隨つてこれを實現することを以て目的とする人間の生存に於て、生存は實に吾人の絶對的要件てあつて、人間の人間として此の世に生を享くる所以てある。天上天下に獨立自主の實在てあつて、何ものゝ手段ても無い。自己自身の目的あるのみてあつて、絶對的自由者てある。自我に於ける生命そのものゝ先天的賦性てあつて、自己發展の隱れも無き事實てある。そこて生存の自由は實に人格的生活の唯一方法として發揮されるものてある。何人と雖も意志の自由に於て、自發的に自動的に、人格の最上形式に向つて生存を追求して止まぬ使命を帶んて居る者てある。それが爲めに、人格の實現は人間の人間たる所以の目的に於て普遍妥當性を有するので、生存の機會は何人に

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

も均等に與へられ、人間の人間たる資格に於て同一の權利と同一の義務とを負ふものである。隨つて生存の權利義務は人格の根本的特質として人道の上に建設されて居るので、一城一國の規矩繩墨を以てこれを左右することの出來ぬものである。勿論、君權又は教權によつてこの生存の權利義務を蹂躙して、生命を脅威するが如き行爲は、人間界にあり得る最大の惡事である。

生存の權利義務　生存の權利義務はこれを色々に分類して研究することが出來るが、便宜の爲めにこれを(一)肉體的生存の權利義務、(二)精神的生存の權利義務、(三)社會的生存の權利義務に分けて見ることが出來る。さうすると、人間の生存と云ふものはこの三者の生活に於て、自己の人格の諸能力を發揮實現することを目的として居るものであることが理解される。そこで人道に對する人間の機會均等なる使命からして、無上命令として三者の生活を規範的に律するものは、正義の觀念である。吾々は正義の要求するところに從ひ、この三者の生活に對して自由の權利を擁護し、公正の義務を果さなければならない。凡そ地球上の人間なる者は何人と雖も、正義の觀念に順ひ、自由公正の權利義務を奉じ、仁愛を以て、生存の本體としなければならない。隨つて正義に反する行爲は人間生活に於ける最大の惡事である。先づ利己の爲めに他人の自由を害し、貪慾の爲めに他人に對して公正の德を失し、憎惡の爲めに仁愛を滅ぼすは、人間の人間なる所以を捨てることであり、大愚不靈の行爲である。

人格の社會的連帶としての生存　この意味に於て、生存そのものは實に人格の社會的連帶である。これを競爭の義に解するは誤解である。原始生物より現今の人類に至るまで、生存は如何にも競爭を伴ひ、適者生存の事實を示したことは進化論の證明する通りであるが、それは過去の道程に於ける觀察に過ぎぬのであつて、人格的意識に達した人間の文化的生活に於ては、不合理極まるものである。人間の人格的生活には、利己を目的として他人を手段とする競爭的行爲は許されない。人格の機會均等を破る一切の競爭的制度も亦た罪惡に屬するものである。それは肉體的生活、精神的生活、社會的生活の三者を通じて同樣である。自己の幸福の爲めに他人の幸福を犧牲にする掠奪的競爭は、不仁の甚だしいものとして擯斥される。却つて他人の福利の爲めに自己の福利を犧牲にする行動に於て、その善的價値を賞揚される。他人をして善を爲さしめ、善を助くる生活に於て、生存の意義を大にするのである。若し人格の實現に於て競爭があるとしても、それは相互の福利を目的とし、各自の人格の向上を圖り、人間の人間たる所以を發揮する獎勵的必要に生じた、人格の連帶的實現である。然るに自己の福利を目的とした競爭は、他人の權利を侵害し、他人の人格の向上を毀損し、その苦痛と悲哀と絶望とを冷視し、敢て慘忍刻薄の行動に出て、これを奴隷と爲し、禽獸と同視し、土塊と等しく取扱ふに於ては、實に人非人の行爲たるのみならず、人間一般の生存に取つては不倶戴天の仇である。生物界に於ける中世代の恐蜥の時代に、二三種の爬蟲が河海に横暴を極めたやうに、哺乳時代に入つてマンモス、象、犀、駱駝、劍齒虎が陸上を征服したや

Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

うに、今日の世に於て一部の人間が自己の福利の爲めに現代生活の有らゆる機關の上に、生存の壟斷を試み、横暴なる振舞を繼續することは、一刻も早く罷めなければならない。是れは人類生活の退歩であつて、進化では無い。生存競爭を以て進化と心得る結果は、遂に過去の世界に於ける猛惡なる動物に退歩して、化石の上に新に人骨の記錄を加へるに過ぎないのである。

生存互助　斯様な譯で、人間の生存の本義に於ては、自己の福利を目的とする生存競爭なるものは罪惡であつて、人格的價値を有たぬことは明瞭である。そこで自他の共通的福利を目的としたる生存競爭のみは難ずべき理由が無いが、併しこの意味に於ける生存競爭は互助の意義を有し、依存の性質を帶べるものである。生存競爭の境を脱して、生存互助の域に入つたのである。人間に於ける人格の實現はこの生存互助によつてのみ完成されるものである。肉體的生存、精神的生存、社會的生存は、相互の扶助に於て始めて發揮されるものである。正義はこれを規定せる無上命令である。自由、平等、公正、仁愛はこの生存互助を實現せしめる主なる行爲である。生存互助はこれ等の人道の實現によつて發揮されるものである。然るに人類の生存競爭には、生存互助も自ら一方に於て行はれて居た。政黨者流の生存競爭に於ても、資本家對勞働者の生存競爭に於ても、種族又は國際間の生存競爭に於ても、認められるものである。生存的福利の共通なる者は生存互助して、否らざる者に對して生存競爭の態度に出づるのである。卽ち生存競爭の爲めに生存互助を手段とするのである。この意味に於て、人間に行はれる有らゆる生存競爭には生存互助も附隨するのであつて、生存互助の大なる團體ほど生存競爭の目的を達成し、適者生存の地位に立ち得るのである。從つて生存互助なき生存競爭は、悉く失敗に歸して、不適者死滅に陷るを免れない、一騎當千は遂に最後の五分間に於て、結束せる弱兵十人の爲めに生擒られる虞がある。といふことも考へられる。

けれども、斯うした生存競爭の準備としての生存互助は、結果して生存の本義に適ふて居るか。更に大なる惡事を爲さんが爲めに、更に大なる結束を爲すことは、更に大なる惡事には屬せぬか。ダーウヰンの生存競爭の說は過去の生物の歷史として自然淘汰の上には一眞理を證明するものであるが、一面に於て生存互助の存在したことを等閑に附して居る。そして此の生存競爭の說を以て人間生活の將來をも卜し得る知識と考へたのは誤解である。これに反してクロポトキンは生存互助を以て自然淘汰の有力なる一面と解し、これを以て人間生活の將來をも卜し得る知識と考へたことは正解である。けれども、生存互助には生存競爭の豫備となる性質のものもあるので、生存互助の本體は何ものであるかと云ふことに至つては、まだ正しい解釋を與へて居ない。これは倫理學の見地から男女と人類との關係の上に考察を廻らして、生存互助の根本的意義を尋求しなければ解答し能はぬところの問題である。(續く)

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

男と女の比較

醫學博士 永井潜

回男が偉いか女が偉いか——怎うして女に相違があるか回

昔は女子といふものに就いては、今日から見れば殆んどお話にならないほど冷遇をしたものてある。或は女人禁制てあるとか、或は女子は三界に家なしとか謂はれて非常に侮蔑されたものてあつた、けれども西洋ては此れと反對に一婦人の手袋が一騎士よりも高かつたことが、シルレルの詩にも見えて居る。

然らば怎うして开麼に男女の價値に懸隔があるだらうか。抑も人間をして人間たらしむる上に、尤も必要なるものは腦髓てあるが、能力の男女の差異は或はその重量とか大小に依つて相違があるだらうか。

回男の腦髓は大きくて重い——女の腦髓は小さくて緻密回

男の腦髓は女のそれよりも大きいといふことは恒に謂はれて居る。然らばそれが故に男が女子に優つて居るかといふに、开麼化學的根據はない。例へば若人間と鯨とを比較するならば、鯨の腦髓は遙かに人間の腦髓よりは大きい、けれどもそれが直ちに人間よりも鯨が優つて居るといふことの理由にはならない。

體重に對する腦髓の重量の男女の比較は、男が體重一〇〇なら腦髓も一〇〇て、女は體重八十三に對し腦髓九十といふことになつて居る。卽ち體量と腦髓の重量との比は男よりも女の方が多いことになるのであつて、此れは女の腦髓の緻密てあるといふことになるのてあるが、然し之れを以て女の方が偉いといふ事も斷言的に言ふべきてはない。

體重は恒に變化があるが、腦髓の重量には變化はないのてある。てあるから此の比較が果して當てになるものてあるか否やといふことは疑問てある。

然して我々の體內て尤も役に立たないものは脂肪てあるが、脂肪は唯だ物と物との空間の詰めになつて居る位なものてあつて生活機能には何等關係はないのてあるが、此の脂肪は男よりは女に非常に多いのてある。女が曲線美を保つことの出來るのは此の脂肪の爲めてある。

开ういふ風に、其の他骨格や鹽分の含蓄量なども男女の體質に依つて相違があり、種々な免倒なる問題があるのてあつて唯だ單に腦の重量を以て考えることは出來ない。腦の重量が重いからと言つて賢いといふ譯てはないのてあつて、場合に依れば愚かな所謂馬鹿もある。

小さくても非常に賢い人もあるのてあつて、決して量の間

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

題ではなく、一つには質の問題である。

回體軀全體女は男より小さいが
——それは優劣の標準でない回

大體から男女の體軀を比較して見ると、婦人は小さく男子は大きい、然らば大きいものが小さいものよりも優れて居るかと謂ふに必ずしも开うとは斷言出來ない。

また男子は婦人よりも筋肉が強い、卽ち力が強いのであるけれども之れを以て、直ちに男女の優劣といふ事は出來ない手や足の比較はどうであるかといふに、男子は手足や胸が非常に發達して居る、殊に肢の邊りは良く發達して居るのである。一方婦人の方を見るに、婦人は手足が短かい而して胴が男子に比べると非常に小さいのである。男の胴は恰もピラミットを逆さに倒した樣なものである、婦人のは遠く之れに及ばない。

男子は動的なもので、卽ち彼は生活を營む爲めに活動をしなければならないのであるから、其れに適するやうに機關が克く發達して居なければならないが、婦人は自分と子供の生命を永遠に保存しなければならないといふ役目がある。卽ち姙娠するのだから血を作る機關が發達して居るのであつて、凡て克く出來て居る。

新陳代謝の作用の方を見ると、男子は破壞的になつて居るが、女子は連接的であつて物を作り上ぐるといふ作用がある。

血液を比較すると、男子の方は濃厚で女子の方は稀薄である。

亦血球を較べると一立方ミリメートルの血液の中に、男は一億五千萬で女は四百五十萬である。而して血色素も男の方が女よりはずつと濃厚である。

回女と小兒とを較べれば
——女は小兒に似通て居る回

婦人と子供と比較して見ると、婦人は非常に小供に近いのである。その要點を言へば先づ體であるが、婦人は胴が長くて手足が小ひさい、之れは小供に似て居るのである。

男の體軀と、子供と比べると其の割合は非常に違つて居るのであるが、婦人と子供はまた非常に克く似て居るのである子供の頭は割合に小さく、骨が發達して居らず顏面は小さいが、段々に生長してゆくに從つて頭も大きくなり、顎も張つて來て全く變るのであるけれど、婦人はその點に於ても顏も割合に小さく克く似て居るのである。

婦人は建設的であるが爲に、脂肪が多くそれが爲めに曲線美が顯はれるのである。が一般に男子は骨張つて居る之れは脂肪が少い爲めなのである。

男子は下顎が割合に發達するが婦人は小ひさい、だから婦人は優しく見ゆるのである。

咽喉を見ると、婦人の咽喉は小ひさくて優さしい、そして聲帶が小ひさくて、發する音聲は頗る澄み渡つて誠に淸々しい美音であることも子供と共通して居るが、翻つて男子の咽喉を見ると太くて大きく而かも喉頭著るしく隆起して聲帶も太とく甚だ聞き苦しい音聲である。

髯の婦人に尠ないのも、子供と共通點だとも言ひ得るのであつて、子供と婦人とが近いといふのは、生理的に動かすべからざるものだといふ學者もあるが、然し之れに就いては婦

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

5 — 822

人の爲めに辯護すべき充分の理由を以て居る。

回男の方が猿に近かく——女は人間性を有して居る回

人間と猿とを比較すると、人間と猿とは非常に克く似て居るといふが、それは全然似て居るといふのは違ふのである、人間は猿よりも頭蓋骨が非常に發達して居るとか、或はまた殊とに齒顎が發達して居るといふ風に違つて居るのである。が先づ男子と猿を比較して見ると子供よりは下顎の張つた邊りなどは殊に餘程近かくなつて居るやうにも見える。詰まり一方子供の方は人間性であり、大人になれば餘程猿の性質が出て來るのであつて、大人よりも小供と同時にこれに似通うて居る婦人の方が寧ろ人間性を保存して居るのである。亦遙かに男子よりは發達進化して居るのであると言ひ得る故に一面から考ふる時は、老成すれば猿の性質と近かくなるとも言ひ得るのであつて、婦人が小供らしいといふのは人間性に富んで居るからだ。畢竟するに若いのである。

婦人は靜的なものであつて、男子は動的なものであることは前きにも述べた如くであるが、男子が動的であるが故に男子は所謂獸性を帶びて居るとも言ひ得るのである。

我々が社會に生存する上に於て、生活體に尤も必要なることは自己保存といふことにある。これは同時に一面他己擁護といふことになるのである。

男子は自己保存をなす爲めに、強健なる身體を以て食を漁つて饑餓を滿たし女子は自己の種族を保存するが爲めに姙娠するのである。

回生物學的にも優劣はない——男女は同權であるべきだ回

男女の強弱を比較すると、女子の方が男子よりも強いのである。何故かといふと死亡率を見ても女子の方が男子よりは少なく、長生きをするものも女子の方が遙かに男子よりは多い或る人は其の原因は男子が働くからだと言つて居る人もあるが、慥かにそれは性の別といふことは爭はれない。死產兒を見ると女が百であるのに對して、男は百三十であるといふのは、同じやうに母の胎内にあつて男子が女子より死產兒が多いといふのは性的差別に依るのである。

然し之れを以て直ちに男女の優劣を決定することは出來ない。男女は共に提携して家庭を造るのであつて、家庭が多數集合して社會が出來るのであるから、自分のみで滿足をして居れば良いといふものではない。

我々の身體を構造して居る細胞を見ると、自己保存である我々が食物を攝るのも自己保存の爲めである。然し一面に於ては子孫保存である。人間が人間として生存してゆく上には、一面饑餓に對して戰ふのであるが、一面に戀愛が伴はなければならぬ。此の意味に於て男女關係は恰度天體に於ける太陽と月との如きものである。即ち男子の天職は饑餓の爲めに戰つて居るのであつて、女子は生殖に當り子孫の保存に盡して居るのであるから、何れ甲乙の差別はない筈であつて、同樣でなければならない。外界の影響に對して婦人は保護されるやうに出來て居るのであつて、生物學的にも男女に優劣は認められない。即ち斯く論じ來たれば、實に男女は同權でなければならないのであつて、制度の上に差別を設けて居る事なども間違つて居る。

若男女同權を主張するならば此意味に於てせねばならぬ。

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

如何に思想を善導せんとするか

文學博士　加藤玄智

□思想善導の成案

私は宗教學を專攻して居る者であるが、今回は其の方面を抜きに致し、單に斷片的に思想問題の一端に付き、所感を陳べて見たいと思ふのである。從來政府の役人などは、封建時代の遺風を受けて、民は依らしむべく、知らしむべからずとの固陋なる精神を有したものであつたが、時代一變せる今日では勿論之を知らしめた上に、之を善導する事が必要である。そして如何にして思想を善導すべきかの問題が起るのである。所が具體的の案は何うであるかと云ふならば甚だ空漠たるものであつて、是れぞと申す名案を見ぬのである。私が地方へ旅行などした時、地方の郡長、町村長、學校長などに糺して見たのであるが、之ぞと云ふ案を有してゐる人は殆んどないのである。そうであるから文部省邊で最も適切なる具體的大綱を案出して、地方の各方面の人々に、其の嚮ふべく進むべき大要を示して指導する必要があると思ふ。中央の先覺や學者識者が考ふる考へと、地方の人々の考へとは、餘程隔りがあると思ふのである。

私にも具體的成案と云ふ程のものはないが、唯一つ申上げたきことは、歐洲戰爭後の今日に於て、我が國民一般に權利の觀念が著しく強くなつて、義務責任を盡すと云ふ觀念が薄くなつたことである。若し思想を善導すると云ふことであるならば、その一ヶ條として各個人が充分に義務責任を盡す樣にしたいと思ふのである。今日は實に不健全に病的に權利を頑強に主張してゐるが、義務遂行の點に於ては却つて退歩――若し退歩でなくとも決して進歩はして居らぬが故に、此仕付け修養が甚だ必要である。日本にも歐米の如く、各地の工場にストライキや、サボタージュをやつた。又東京には二回、市民の大事な交通機關たる電車のストライキをやつた。之は海陸共交通便利の爲めに、歐米に起る總ての忌はしき出來事が、日本にもその波動を受けたのである。恰かも大きな池に石を投ずると、其の波動が見る間に大波となつて、池の全面に及ぼすが如きものである。

□歐洲諸國民の緊張

又爰に一つ考ふべきことがある。それは日本と歐洲各國と、戰前より戰後迄の狀況同一ならざるの一事である。私の友人が戰後、佛蘭西より米國へ行つて來たのであるが、何處へ行つても工場、商店、鐵道其の他のストライキに出遇つたので、此旅行は所謂ストライキ旅行であつたと笑つて話したのである。兎に角歐洲各國は足掛け五年の長期間、國運を賭しての戰爭であつたものだから、出征の軍人は如何に辛苦艱難

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

を嘗めたか、又慘憺たる塹壕生活をなし、食糧品缺乏等の爲め、どれだけ困難をしたか、實に想像に餘りある事柄である。獨逸の如きも戰後に於ける老人や小供が、榮養不良の爲め死亡する者が頗る多いとのことである。又青年及壯年の職工其の他の者が、戰前には食糧品即ちパンでも、肉でも豐富であつて、何等の不自由を感じなかつたが、いざ戰爭となつてからは、パンも肉も充分に食ふこと能はざるのみならず、非常な艱苦を嘗めたのであるから、何うか平和が一日も早く來る樣にと待ち望んで居つたのである。偖平和の鐘が愈々鳴つて、戰爭は熄んだが直ぐに戰前の樣な豐富なる生活狀態に還ることは出來ないので、不相變不自由を感じて居る爲め無教育の人々は嗚呼詰らぬとの考へを起し、氣がいら／＼して亢奮してゐるのである。故に若しストライキ其の他の煽動者があるならば、直ちに應ずると云ふ心理狀態になつて居るから、多少酌量し容赦すべき點があるのである。そして此氣分は國民全體の氣分であると云ふことが出來るのである。

又歐洲戰爭の際、飛行機を製作した多くの職工が、どれだけ直接間接に、戰爭の爲めに貢献したかを考ふるならば、實に圖り知る可からざるものがあるのである。飛行機に就ては私は友人と所澤に參り、多くの職工が分業的に熱心に働いて居り、あの立派なる飛行機を製作するのを見て、大いに敬服した。友人も非常に感服して此等製作者に對し、大いに敬意を表すべきであると力說した。又歐洲激戰の巷となつた所の土壤は、專門學者の說に依れば、完全に戰前の耕作地味及狀態に回復するには、今後二百年を要するとのことである。實に驚くべき事ではないか。此戰爭に就ては、我が日本は歐洲各國とは其の趣を異にして居る。成る程相當に陸軍の將卒を送り、又地中海迄軍艦を派遣して、勇戰奮闘したには違ひないけれども、大體に於て國民全體の氣分、決心が、彼我の間に餘程の差違があるのである。我が日本に於ても日清日露兩戰爭の際などは、國民全體の精神が、隨分引締つたものである。殊に日露戰爭の際の如きは、一國を擧げて國民全體が緊張したのである。彼の旅順の要塞は却々陷落しないし、一方優勢なるバルチック艦隊が襲來すると云ふので、國民は何れも安き心なく、實に國運を賭しての大決心をなし、大決戰を遂げたのである。幸ひにして天佑に依り、總てのこと案外に好結果を來したのであるが、其の當時の心痛苦慮は、深く吾々の腦裏に銘記して居る事柄である。丁度此日露戰爭に於ける我が國民の精神狀態と、今回の歐洲大戰に於ける歐洲交戰各國民の精神狀態が略ぼ同一であるのである。

□彼我の緊張と遊惰

又歐洲各國は戰爭の爲めに、工業品其他の生産品が製造又は産出することが出來なくなり、日本からどん／＼輸出することゝなつた爲めに、我が國には俄かに鐵成金が出來たり、船成金が出來たり、大豆成金其の他色々の成金が出來たのである。是等の成金が無己矢鱈に散財したることに由つて、社會一般の氣風が浮華淫逸に流れつゝあるのである。京都の成る成金が、十圓紙幣な卷いて、中へ煙草を入れて之を煙にして仕舞つたと云ふ話がある。元來煙草は香氣を重んずべきものであるのに、紙幣の樣ァ厚い紙に卷いて吸ふたならば、臭

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

くてたまらんだらうと思ふのである。又若し其の紙幣を以て苦學生を養ふならば、二十日間位養ふことが出來るのである。それを無益に煙にして仕舞ふとは、實に非常識極まることであり、馬鹿の骨頂である。是れは畢竟詰らぬ賤業婦の前に誇る、不純なる虛榮心の發動に外ならぬのである。

過般阪谷男爵が日本を代表して、英國に開かれた經濟大會に出席せられた時に、英國皇帝に拜謁仰付けられたのである。其の際男爵が戰爭の痛ましき事柄に付き、御同情申上げ奉ると云ふ意味の御挨拶を申上げた處が、皇帝陛下は男爵に對し「朕は國運を賭して、國民と心を一にして戰ふたが、之に由つて國民の精神が著しく引締つたのを見て、朕は之を喜ぶ」と仰せられたとのことである。是れは確かに英國皇帝の御聖慮と英國民の實情を御言明になつた御言葉であると思ふのである。然るに顧つて我が國情を見るのに、人心は格別緊張することなく、却つて浮華遊惰に流れて、妄りに權利を主張する歐洲の悪影響のみを受けたのである。日本人は兎角模倣に流るゝとの甚しい國民である。彼の鹿鳴館時代には、男子は勿論、婦人が盛んに洋裝をなして毎夜舞踏に熱中し、何もかも西洋と云ふ風に盲從した爲めに、心ある者をして慨嘆せしめたのであるが、又近頃新聞や雜誌などで、妄りに露國や歐米の悪想を鼓吹して、一般國民に宣傳した爲めに、國民は生活上格別の支障なきに拘はらず、之が直傳を受けて感染したのである。

歐米人の責任觀念

更に又考へなければならぬことは、歐米人は自身の權利を主張すると同時に、自己の義務責任を遂行して行く事である。例へば學校に居る内外人の先生に就て觀るのに、西洋人は鐘が鳴れば、直ぐに責任を重んじて教場に行くが、日本人の先生は悠々として直ぐには行かぬ風がある。大體内外人の責任觀念に著しき相違がある。尤も支那の學校では一種特別で、鐘が鳴つても出て行かぬ方が善いとの事である。直ぐに行くのは輕々し過ぎるから、生徒が二三度迎へに來た上で行くのが、重々しくて善いとせられてあるが、然し是れは全く例外である。偖又私の關係した學校に西洋人を雇ふて居つたが、その招聘の約束には五年經過後に一度、半年間本國へ還すとの一ヶ條があつた。西洋人は約束通り五年勤めて、歸國の時期が來たので其の請求があつたから、歸國を許すことゝなり、其の替りに臨時の教師として一人の西洋人が六ヶ月間の約束で來た。そこで私は其替りの教師に、此學校に用ゐて居る教科書は是れ是れであるが、貴下の新しき眼を以て一讀せられて、若し誤謬等を發見せられたら、どうぞ付箋して貰ひたいと申した處が、彼れは宜しいと返事はしたが、其の後餘り讀んだ樣子もない樣に思はれたけれども、僅か六ヶ月間の臨時教師のことであるから、格別催促もしなかつた。所が六ヶ月の期間も終つて、愈々歸國した西洋人が再び來り、替りの教師は豫定通り解職することになつたが、その際、豫て私が賴んで置いた教科書に對する誤謬や其の他に關する意見を立派に書いて、付箋した上私に返したので、私は西洋人は約束を固く守る者であるとの感を一層深ふして、敬愛の念を禁ずることが出來なかつた。是れは實に日本人の學ぶべき點である。日本人はまだ却々さう云ふ譯に行かぬのである。

日本人の一例を申すならば、私が或る會に關する事務を一人の日本人に賴んだ。相當の報酬を出すことにして、其の人は承諾はしたが、其の後一向やつて吳れぬ。報酬もあやふやで受取らぬ爲めに、非常に差支を生じて困つたことがある。之を前の外國人に比べて見るならば、實に雲泥の差がある。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

紺屋の明後日と申す諺は、實に我が日本人の責任觀念のあやふやなことを顯はして居るのである、吾々は此繁劇なる社會には、大いに約諾を重んじて、其の責任を盡すことに奮勵努力せねばならぬのである。又或る學校に招聘せられてゐる外國人が、物價騰貴の爲めに最近の統計表を作り、之を添付して增俸を要求し、若し此要求が容れられなければ辭任すると、きつぱり斷つたのである。外國人は斯くの如く責任も充分に盡すが、權利も思ふ存分に主張して男らしい得點がある。然るに從來の日本人には、上下相互の同情心があつて、權利を明白に要求せざるが如きは、誠に麗はしき點があるので、之を看逃すことは出來ぬが、併しどちらかと云ふならば、西洋流儀のはき〳〵した掛値なき正札的主張が必要である。又集會の時間が田舍は勿論東京に於ても確守せられない。三十分や一時間遲れることを何とも思はぬ。之は大いに革正せなければならぬ。茲に善き一例がある。それは慶應大學に重もに外國人の委員を以て組織してゐる一つの委員會があり、私も其の委員の一人であるが、その會の催ふさるゝときには、時間は午後三時半からと云ふことになつてゐる。私などが途中の時間の都合で午後三時頃に行くことがあるが、其の時西洋人は一人も來て居らぬ。はて自分が會の日を誤つたのか、或は又西洋人が缺席するのかと思ふて待つて居ると、その西洋人が午後三時半の十分か十五分位前になると、急に所々方々より集つて來て缺席などする者は滅多にない。實に彼等は氣持ちの善い程、時間を勵行し確守するのである。日本は今や封建時代よりの過渡時代であると一般に申すのであるが、その移り替りの期間が餘りに長過ぎて、總て時間のことでも何でも愚圖々々してゐると、思ふと實に齒痒ゆく感ずるのである。

□德川時代の武士氣質

德川時代には士以下は人格を認められず、切り捨て御免と云ふ事になつて居るので、權利義務の觀念がないのである。又素町人は道德は不必要であるとせられたので、今日の一般國民は昔の武士の精神氣分を有して居らぬ。昔の武士は實に然諾を重んじて、その吐きたる言葉に強く責任を感じて「武士に二言は御座らぬ」と申し、いざと云ふ時には切腹して、その責任を果したのである。そこに實に武士道の立派なるものがあつたのである、然るに今日は總ての方面を考へても責任觀念が殆んどない。大工の如きも之を雇ふのに定用ならば、彼等の休む時間が實に長くて、眞味になつて働く時間が誠に少ない。若し又之を請負ひにするならば、今度は五本の釘を三本に減じて打つと云ふ工合に手を拔くのである。最にも申す通り封建時代に極端に責任觀念を有したる武士と、極端に責任觀念を有せざる農工商が、御維新後四民平等の名の下に一つとなつたのであるから、却々思ふ様に參らぬ。又先般大阪の商人が、露國傷病兵の繃帶及ガーゼを引受けた。最初の見本は立派であつたが、實際送つた品は見本よりも數等落ちたので、露國の當局者は非常に憤慨して、由々敷き人道問題だと申したとのことである。是れは最も至極の事である。我が國は今や四民平等に國家の重責を負ふてゐるので、平民宰相も出來てゐる位である。故に國民全體が昔の武士の如く、

Digitized by Google　　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

其の各方面の責任を果さなければならぬ。そして此平民が國家公共の爲めに百萬圓を寄附すれば、勲三等にもなれるし、或は又華族にもなれぬことはない。併し吾々國民は第一に人格を磨き、人格を立派に築き上げることを心掛けなければならぬ。

私が旅行の際、汽車の一二等室に、往々職工上りの成金が傲然として乗つて居るのを見受けるけれども、大體人格が出來て居らぬ。先日も私が山陰線に乗つた時、矢張二等室に職工成金と覺しき人が乗つて居つたが、傍らに多くの乗客が居るに拘はらず、兩肌を脱ぎ捨てゝ汗を拭ふたのであるが、其の様子が誠に野卑て、見つともなかつたので、多くの乗客は之を顰蹙したのである。幸ひに西洋人が乗り合はさなかつたから善かつたが、斯くの如く他人に對する禮儀とか作法とか云ふことは、更に知らぬのである。即ち人格が出來て居らぬからである。偖又昔日は或士だけが戰爭を引受けたが、今日はそうでなく陸海軍のみならず、國民全體が引受けなければならぬので、國民全體の責任觀念が戰時に於て一層必要である。露國は過激派の爲めに、あの悲慘な有様である。又露國の貴婦人が日本に逃げて來て、その所持の寶石を賣り盡し旅費にも窮したとの話もある。殷鑑遠からずである。若し日本人に此責任觀念を有せず、病的であり不健全であるならば、我が國の將來は實に憂ふべきてある。

□乃木大將の教訓

回顧すれば大正元年九月十三日午後八時明治天皇の御跡を慕ふて、殉死を遂げられた乃木大將の事を考ふるならば、實に責任觀念の強い御方であつたことを思ふのである。彼の西南役の時聯隊旗を失ふたる責任に就て、非常に深く感じて居られ、又旅順に多くの將卒を殺したことを深く悲み痛まれたので、其の述懐の詩は「皇師百萬征二強虜一野戰攻城屍作レ山我愧何顔看二父老一凱歌今日幾人還」と云ふので、有名なるものである。志賀重昂氏の話を最近に聞いたが、旅順の要塞は、非常にその道に堪能なる白耳義の技師の設計になつたものであつて、實に難攻不落の堅城であつたから、如何に勇武明智の大將があつて之を攻めても、乃木大將も同じく、多くの時日を要し多くの將卒を犧牲にせねば駄目であると云ふことは、敵將たるステッセルを初めとし、歐洲軍人社會の公評であるさうてある。

又岡崎侍從武官の話に由れば、乃木大將が旅順から凱旋せられ明治天皇陛下に戰況を復命せられた時は、誠に恐懼措く能はざる態度と、沈痛極りなき語調を以て言上せられた上、陛下に「どうか臣に死を賜りたい」と心の奥底から願はれ、自刄を決心して引下らうとせられた。處が陛下が大將を御呼び留めになつて「朕百歳の後之を爲すべし」と仰せられたので、其の難有御言葉に感激して、明治天皇御在世中は自殺することを思ひ止まつて居られたとの事である。

それ健全なる責任觀念を有し、之を遂行し斷行する國民は、健全なる社會と強固なる國家を築き上げる事が出來るのである。我が國の教育家が思想善導に就き、此責任觀念を強くし、義務責任を遂行することを、その一ケ條として、幼稚園より小學、中學、大學の學生に至る迄、之を善導するのみならず、教育家各自が、奮勵一番實踐躬行の活模範を示されんことを希望するのである。そして獨り教育家のみならず、我が國民全體が、乃木大將の如く此責任觀念を體得した光輝ある人格を中外に發揚し、國運の發展を期せられんことを熱望するのである。

（文責記者）

衛生大權と公娼廢止

水津千雲

國家の大權が國民に向つて強制せらることはいふ迄もない。故に國民の衛生保健を期する爲には、衛生大權を以て交通遮斷を行ひ消毒勵行を強ひ種痘を行はしめ大掃除を實行せしめ又消極的豫防法を講せしむることを得る所以である。けれども國民は之れに對しては何等の異議を挾むものはない、多少の不行屆或は豫期以上にこの大權の行使せられざることありとするも、尚多くを要求し以て公衆國民衛生の完全を望んで止まないのである、これ卽ち自己の幸福安全に一致するからである。

殊にこの大權の一部たる衛生行使權は自治團體にも委任せられ、警察權と相俟つて行はるゝ程、國民に取りても重且大なるものであるからである。又國家としては、國民の勢力消長に係はることとて國勢調査が國民數の計上に腐心するよりも、より以上に國家の盛衰に關係するのであるのは勿論であらう。其のため當時內務省は我國兒童の死亡率が增進せりとて、俄かに兒童衛生展覽會を開設して兒童衛生思想の鼓吹に努め、育兒法の改善發達を圖し其方法を普及せむとすと聞けり、宜い哉この事業國民も大いに之れに加擔し後緩して其目的の達成せらるゝやう努力するがよいと思ふ。

斯くも國民の保健上衛生が必要なりと認むる內務當局は、從來衛生法の實施何れも消極的にして何時も吾人をして滿足せしむるもの尠く、以て內務當局の能事終れりと澄まし切つて居る感なきにあらざるものがある。我國に於ける諸種の病毒は文化の進步に比例して愈々益々猖獗を極め、結核病、花柳病の如き其勢ひ恐るべきものありて、今は既に其出生兒童の死亡率に迄其結果は表現するに至り、漸く當局は眼の醒めたるが如き有樣となり先づ兒童の衛生展覽會と具體化するに至つた。併しこれは決して失當の業とは云はざるも兒童生兒の死亡率の昇進するは、其原因の多くは生兒及兒童其者が贏弱なる父母より受け來たるもの多きを亦大いに考慮せざるべからざる事であらう。彼の結核病花柳病等は其素質及其病原を兒童に遺傳せしめ兒童は之れがため先天的弱體に生れ、遂に死亡率に注目せざるべからざるに至れるものである。其素質の剛健なる兒童は多少の不衛生不攝生の評ありとするも、却つて之れが積極的豫防法となり、生理的に身體及精神に抵抗力を生じ、一定の生育期を經ば健全に發育するものである。

兒童衛生固より等閑に附すべきものには非らざれば、進んで之れが施設を爲す內務當局者の熟慮を感謝するものなれども、吾人は未だ隔靴搔痒の想ひなきにあらざるものがある。

何ぞや曰く、前陳の如く、衛生保健に對し必要を認め且つ大權を以て自由に國民に向つて衛生法を實施し得るに係らず其の結果に就て何等施す所なきを憾みとするものである。結果とは卽ち實施したる衛生法が如何なる點まで其効果あり

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

や否やを知る事てある。之れを知らむとするには、國民全體の健康診斷を行ふことである、吾人は疑ふ何故國家は諸種の衞生に關し國民に之れが實行を强ひながら、其結果の如何を調査せざるのであるか、不親切の極である。偶々傳染病の如きものに對しては消毒を勵行せしめ、或は種痘の如き所謂其結果を調査しづゝあるに、身體全部の健康診斷は敢て行ふことをせず國務大臣の更迭從來屢々行はるゝも、一度も玆に思ひを致して法規を定め命令を發したることを聞かず、時に船舶の如きは檢査の行はるゝこともあるも此は特殊の場合のみ、國を擧げて其勢力の如何を知るに足らず。

吾人はいふ。少くとも毎年一回或は春秋の二期に於て、國勢調査の人口調と相俟つて、國民の健康診斷を行ふことは決して無意味の事にあらす、否國家は之れに對して當然なる義務ありといふも過言に非らずと信ずるものである。平民政治を標榜する內閣としては、最も親切なる徹底せる施政であらうと思ふ。

尙國民健康診斷の方法としては、最も容易の業にして、種痘のそれの如く、大掃除の勵行の如く、市區町村役場に於て毎年或期間之れを實施し、或は醫師の診斷書を差出さしめ、之れによつて完了するものである。若しこの場合に於て、結核又は花柳病者は勿論罹病者一切は、之れを特殊の國民として本人の保健上時々健康診斷を行ふ特例を設け、健康恢復期間は一定の病院に入院せしめ、全治を俟つて家庭に入らしめ或は公立病院に隔離せしむれば足る。其他其方法に就ては今玆に一々明示する必要を認めない。

斯く論じ來れば、從來我國に於ける多年の懸案たる公娼廢止論の如きも容易く其實行を見ることゝなる。即ち公娼存置論者の公娼廢止に伴うて花柳病毒の蔓延するを恐るゝのと私娼の拔扈とてあるが、併し乍ら、公娼を廢止して國民健康の診斷を行へば、花柳病患者は擧て醫師の治療をうけ、私娼ありと雖も常に保健上よりする診斷によつて花柳病毒は防ぎ得る事となる、殊に私娼の如きは特種の國民として隨時診斷を行ふことゝせば延いて私娼其者も或意味に於て取締り得べき便法生ずる譯である。

故に國勢院の如きは、須らく斯かる新事業を計劃せば、衞生大權を以て國民全部の健康診斷を行ふに於て何人も之れを拒否する能はず從つて私娼を承認するもこは除外例によりて保健上時々に健康診斷を勵行するを得べき事となる。かくして公娼廢止さるゝも病毒傳播を憂ふるの必要なく、又散在的私娼を取締るべき繁多も容易となり私娼も亦之れによりて自然に減少して行く理由である斯くして最も恐るべき結核、花柳病毒の蔓延を積極的に豫防することに向つて何人も之に反對するものはなからうと思ふこの美名の下に一方國家國民の風紀を矯正し得ることを得ば所謂一擧兩得の最上法であらう或は健康診斷の實施上困難てあらうなどゝ心配する人もあらうが種痘の方法と同じ方法を採れば決して六ヶ敷いことはないのである即ち醫師に就いて自ら健康診斷を乞ふことが出來るものは其醫師の診斷書に依り其他は無料にて各町村役場及區役所で行ふことにすればそれてよいのである故に國勢上國民の健不健は數の問題よりも緊要切實なるものがあるから願くば一日も早く徹底的衞生法の實施と、公娼廢止の行はるゝを希望するものである

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

男女の性的教育

常盤松女學校長　三角錫子

(一)

　怎うも我が國では、男女何れを見ましても性的教育に缺けて居るところがあるやうに想はれます。青年の男子の方に致しましても此の方の教養は餘まりゆき屆いて居らないやうで御座いますが、殊に若い女の方には性に對ず觀念が殆んど絶無だと申しても差支へないほどに、此の問題に對しては非常に幼稚な方が多いので御座いますが、私は此れは決して度外視することの出來難い重大な問題であると思ふので御座います。

　若い娘達が動もすれば誘惑せられて再び世の中に浮び出ることの出來ない深淵に沈淪してゆくのも、一つにはこの性に對する觀念が極めて幼稚なのが大なる原因ではなからうかと思はれるので御座います。

　また男子の方にいたしましても、若し性に對する正當の理解があつたなら、醜業婦などを相手にして樂しむといふやうな下劣な行動はないことになるだらうと思はれます。

(二)

　若い娘をお持ちになつて居らるゝ方々は齊しく御經驗なさることとて御座いませうが、殆んど男子の方には想像の出來ない程度の幼稚な奇問に私共は恒に接するので御座いますが、私は之れは他人よりも親が直接例を卑近に採つて尤も理解し易く丁寧に教養せられるのが相當だらうと思ふので御座います。然し性に對する問題の說明は親の口からは怎うも言ひ惜いと被仰る方も多う御座いますが、之れは他人よりも親が最もその位置にあるゝ方であると私は思ひます、而して正當な理解を與へておく事が肝要で若し、無理解のまゝに放擲しておきますと種々な免倒が後日に起つて親として非常に困る場合の多いことを申上げて、世の親御達の御注意を促し度いと存じます。

(三)

　私等の見聞致しました範圍にも、從來性に關する無理解な爲めに起つた樣々な悲劇も澤山御座いますが、中には全然女が姙娠するといふことを知らずして浮か浮かと誘惑せられた小娘もあります。恁麼事は恐らく異性の方には「开麼馬鹿なことが」位にしか見えないで御座いませう。實際に女性に姙娠といふことのあることを知らないといふことは、一面から申せば頗ぶる凡庸極まる譯で御座いますが、然し夫れは一度娘時代を經過した婦人の等しく經驗して居る娘時代の性に對する觀念の幼稚な程度で御座います。

　眞實に小娘時代の性に關する觀念の幼稚さは、斯ういふ程度のもので、また僅かな事を楯に強迫でもせられゝば、親にも語る事が出來ないで縮み上つて仕舞ふといふ風で御座いますから、凡てのことがこの調子でゆくので御座いますから、とんだ將來の不幸も知らず〱のうちに受け入れる場合も多いので御座います。それ故、女子の性に對する教養は餘程親御達は、不斷御注意にならなければなら

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ないことゝ存じます。

（四）

此の問題を度外視することの出來ない例として親御の非常にお困りになつた御話を申上げます。それは或る方の令孃で御座いまして或る帝大出の方に嫁がれたのでしたが、結婚をなさる前までは非常に双方ともお睦まじく、令孃も相當に相手方の青年を理解し、信用して居られたので御座いましたが愈〻正式に御結婚といふことになりまして、お輿入れをなされたその晩、先づお芽出度いことゝ皆が喜んだも唯だ一時で令孃はその晩の内に突然里方へお歸りになつたので、親御や媒酌の方々の驚き樣は大抵でなかつたので御座います。その時令孃のお辭は恁うだつたので御座います。

「夫にならるゝ方は人格の非常に高潔な方であると今までは信じて居りました。それに意外にも不良青年で御座いました」と申されたそうで御座います。

これを見ても如何に此の問題に女子が幼稚であり、且つ然も尤も大切な事柄であるかゞ窺はれるので御座います。

（五）

男子の方にいたしましても所謂酒色に溺れ、醜業婦や酒場の女給に戯れることを以て快樂とせられる方も多いやうで御座いますが、之れも性的觀念に缺陥のおありになる爲めだらうと存じます。酒色に耽溺れることを以て輕るい誇を感ずるといふ心理狀態の裡には實に唾棄すべき賤劣さが偲ばれるのでございますが、然しそれは強ちその人々をのみ責める譯にもゆきかぬることゝ存じます。若し眞實に私共が醜業婦をなくし遊廓の中から娼妓を救ひ出して再び左ういふものを此の世に出現せしめないやうにするには怎うしても正鵠なる性に關する敎育を忘れてはならないと存じます。

（六）

若し男女ともに正鵠なる性に對する理解がありましたなら、此の社會に賤業を營む醜業婦の跡を絶つことも可能ませうし、また常に新聞の社會記事を賑はして居るやうな酒色に溺れての結果たる悲劇の數々もなくなつて、最とも秩序正しい社會が現出ることだらうと存じます。

遊廓におかれて居る女性の全部は誠にお氣の毒な人達で御座います。その人々を自由の境遇におく爲めの開放運動は誠に結構なことで御座います。

然し私共は一面に此の憐れな人々の開放せられると同時に、一面に於ては之れを要求する人々を、敎養扶育してゆく事を忘れてはならないと存じます。

一般物貨の需給關係とは全然異うとしても、矢張り之れに似た現象で需むる者があるから應ずるものもあるといふ具合で、現在の遊廓も存在すれば賤業を營む者も出來てくるわけで御座いますから、若し需むる者の跡を絶ちましたなら自然此の問題の解決は就く譯で御座います。

それには社會の識者は需めつゝある人々の敎養と指導を先決問題とし、一方之れに應ずる婦人達に向つては性に對する正鵠なる智識と理解を與えて誤つた方向に進まないやうに指針を示すことが肝要であらうと存じます。（談）

◇御注意◇

會員諸氏の中で移轉の御通知に舊住所を落される方が多う御座いますが整理上誠に困ります。必ず新住所舊住所併記御通知被下るやうに御願致ます。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

理想と生活苦（一）

――自由は我等の生命であり、生活は我々の既得權である――

足羽清美

□理想への過程

私共が此の社會に活きてゆく上に於て通つて往く道は決して坦々たるものではない。雲に聳ゆるやうな峻峰もあれば一歩を誤てば千仭の谿谷もある。若し我々の精神に些して緊張味を缺いたなら忽にして角なき鬼は荊のやうな手で我々の首級を採ぎ取つて仕舞うであらう。釋尊の言つた地獄は實に我々の現實社會にあるのだから。

隨つて極樂世界もまた我々の現實生活の裡になくてはならない筈である。然し其は私共の少なくも現在にはなく將來にあるのであつて、我々が畫いて居る理想郷が卽ちそれである。卽ち私共は現在凡百困難と戰ひ、總ての迫害と格闘して奄ぎ〳〵其の途を開拓しつゝあるのである。我々は現下理想郷への道程を開鑿しつゝあるのであるから、その努力の反面には不滿もあり、不平もある、卽ち絕大なる之等に對する反抗の斧を以て邪魔物を次第次第に薙ぎ倒し斬り開き、軈て起伏を均らして坦々堵の如き途を營まんとしつゝあるのである。

□平等の理想

我々が生を享けて呱々の聲を上げ社會の一員として贏えた權利（權利義務の權利ではなく、お互の約束である）は尠なくはなかつた筈である。而して夫れは各人平等であつて決して其の間には些の差別はなかつた筈である。假令東洋と西洋と所は異つて居ても、男性女性の性的區別はあつたとしても尠なくも、貴賤貧富の懸隔差別は絕對になかつた。我々が母體から分離して獨立した時は世界十六億の人間悉く全裸體で、一人として綺羅を纏うて居な者もなければ、襤褸を着て手に缺けた椀を持つて居た者もなかつたのである。

我々は平等なる分け前を得て平和に互に相親睦して生活すべき運命を持つて產み出されたのではあるまいか。それが生を持つた瞬間から差別を設けられてゆくのは、强ち各人の間に努力の相違があるばかりではあるまいと想はれる。

高所の水は此れを利用すれば噴水ともなつて美觀を添えることが可能る。けれど噴水の水は低所に導かれたるが故に高所の同性と高さを相等しくせん止み難き慾求から昂るのである。高氣壓低氣壓の作用も其平を保たんが爲めに生ずる現象であることは今更私が呶々するまでもない、物平を得ざれば鳴るといふのは私共人間生活の平等性を說いた名言であるが我々が生存する上に此の目的は完全に達せられ絕對に既得權を侵害せられた不平等な現象はないであらうか。

理窟は暫く拔いて私共は事實に就いて考覈して見なければならない。我々の生存してゆく事、生活するといふ問題は學問や理窟ではない、實際切實の問題であるから。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

□病と不安

古い辭に醫は仁の基であるとか亦醫は仁術であるとか言つて居るといふことであるが、若し吾々が病の床に呻吟して將に幽明其の境を異にせんとして居る時、世の多くの刀圭家達は果して克く仁者の態度を以て吾々を見舞つて呉れるだらうか？

　プロレタリアートは完全なる醫師の診療を享けて、其の生命のあるものは本復して更らに生存することが可能、最早や到底此の娑婆と絶縁すべき運命にあるものと雖も安らかに永久の世に送らるゝ事が出來るであらうか？　考へれば我々は現在に不安であるばかりでなく、將來に對しても大なる恐怖と或る種の惡寒を感ぜずには居られないのである。而かもそれは強ち私自身一個の取越苦勞計りではなく、實にサラリアート共通の不安ではあるまいかと想はれる。

　私は曩き頃病の爲め暫く入院して居たのであつたが、左の一事は恰度その時私の眼前に展開せられた事實であつて、當時の私をして極度まで興奮せしめたのであつた。

　それは斯うである。一日私の隣室へ一人の婦人が入院したのである。その婦人の病名は大腸加答兒と診斷せられ可成り重體であることは、夜陰に彼の女の呻吟の聲の私の寢りを妨げるばかりでなく、ものゝ十分か十五分隔に何んだか嘔吐するらしい物音の聞ゆるのにも明瞭にそれと受け取れるのであつた。私は何れかと言へば平常から寢むられない寢むつてもその時間は極めて僅少いのであるが、況して病に惱み悶えて一入興奮して居る時てあるから夜中殆んど眠られはしなかつた。それに隣室には深更冷し氷を割るらしい音さへも時折は夜の靜寂を破つて傳へられるのである。怎して私は眠られやう、終ひにその夜はまんじりともせずに私は一夜を明かしたのであつた。

　恰度中一日をおいて三日目の日である隣室ては人の出入が賑かであると思つて居ると、彼の婦人は自宅の方が多忙だから是非退院したいと言つて、無理に歸つて仕舞つたとのことであつたが、後で看護婦から聽くところに依ると、餘程の重體て今體を動かすのは頗ぶる危險だとのことであつた。――それ程の重體を以て如何に多忙な家庭であつたにしても何の仕事に從はることが可能やうに……。その婦人の家は夏は氷店を出し冬は子供相手の燒芋を商うて僅かに生活をして居る人であるとのことであつた。それを聞いて始めて退院の理由も闡明たのである。

＊　＊　＊

　私の病床から東側の方には數寄をこらした瀟洒な一構へが見えるのであつた。餘り廣いといふのではないが却々善く手の屆いた築山があつて、其の庭の片隅にある檜の小枝には雀が塒を作つて居て朝夕私の徒然を慰めて呉れた――その持ち主はさる人の妾で昔は三線の糸に浮名を流した姥櫻だとの事である。

　藝者、賤業に從事して居る女、それが何れ丈け社會的に功績があつて、斯くまて裕かに安らかに餘生を送る事が出來るのだらうか？　夏は氷屋、冬は芋屋の主婦となつて或る時は瀧津瀬の汗を流し亦或る時は眞黑な黑色人種をも欺くばかりに汚れてまで！　三百六十五日一日として休みなく、孜々として働いて然かも猶

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

且つ生か死かといふ此の重大なる時機に充分の療養も爲ることが不可能といふ最も憐れな人もある。眼前私は斯ういふ不可解な矛盾した現象を對照して見る事が出來、そこに言ふべからざる憤怒と、譬へがたない恐怖と不安を感ぜずに居られなかつた。

斯の婦人は三百六十五日不休の生活に對する努力では病軀を醫師に託し、藥餌に親む事が出來なかつたのである。

□藥も呑めぬ

或る時病褥に親んで居る友人のKを訪ねると彼は悲痛な面持ちで

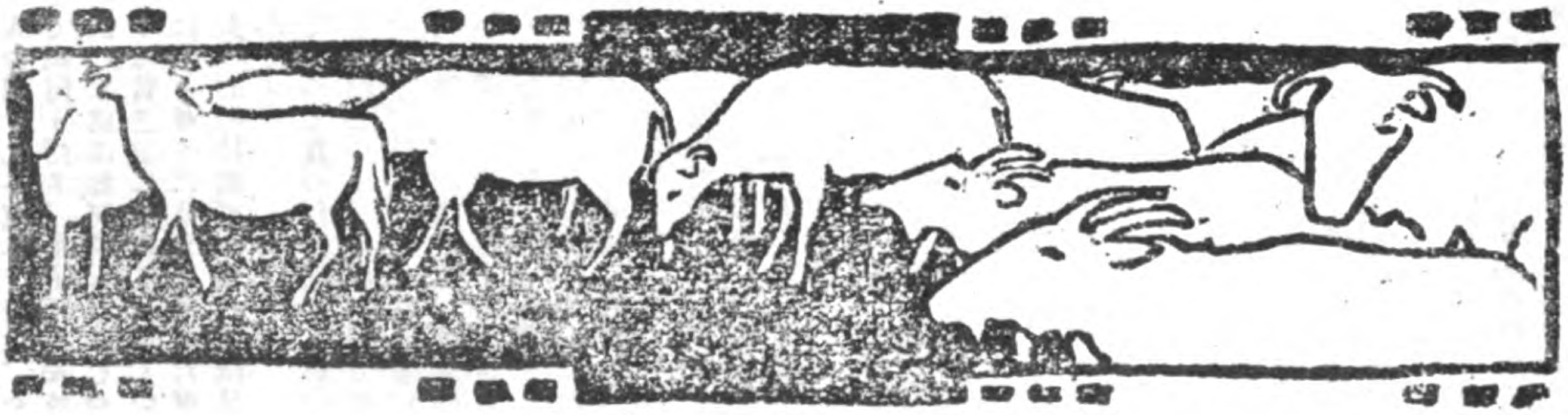
『昨夜裏の家の兒が危險で僕が往つて見ると母親は唯愛兒を抱いたまゝ悲痛の涕に暮れて居るのみであつたので、怎うして醫者に診せないのかと訊ねると金が無いのでと言つて、それが爲めに醫師の診療を請ふ事の不可能な事を告げたので僕は什麼馬鹿な事があるかと卽座に病院に連れて往つて入院させたが金の無い程辛い事はないといふ下世話を始めて痛切に感じたよ』

と尤も慘めな實例を物語つて呉れたのである。私はその母子に同情すると等しく長く病み且つ自分の事にも不如意な財嚢の持ち主たるKが充分に歩む事も不可能な怪しい足取りで苦惱して居る小兒を背負てゆく態を想像する時、Kの此の態度には大なる敬意を拂はずには居られなかつた。彼としては見るに忍びずして自分の病を打ち忘れて刹那的に此の擧に出たのであるが。私は我々相互の愛は斯くあり度いと思ふのである。

而して其の後Kは發熱して務め先は缺勤續けになつて居るのであるが病を長延かして職務上に支障を來たしたことは資本家に採つては不利益であるかも知れない、隨つて自分自身も大なる損失をして居る譯である。亦資本家側では此くの如きことは最も忌み、且つ憤ることであらう。けれど人間相互が相倚つて社會を形成して居る以上、私達の生活は打算的に流れ理窟通りに渡れるものではない。我我は互に相愛し合ひ互の愛の中に相抱擁し合つて過ぐさねばならない。それでこそ眞の平和も平等も期待し得られるのではあるまいか。そして互の愛の前には打算は矛盾の根底を來すから大禁物でなければならない。卽ちKの此の動作は私に尤も快感を與へたと同時に私は彼に對して大なる敬意を拂つた所以である。

隣の兒を病院まで背負つて往つたKは此の春以來健康頓みに勝れず、のみならず經濟的に彼とても決して他人の兒を入院させる程度の財力のない事は勿論である。然し、私は此の物語の中にある病兒の家庭は何職か聞き洩らしたが兎に角裏店住の佗しい生活者であることは確かだ割長屋の貧しい生活をして食ふ事も充分でなく、衣ることも意の如くならず、瀕死の病兒を抱いて一滴の藥をさへ與へる事が財嚢の不安から成し能はず、病兒を抱いて唯だ泣いて居た母親の心理は怎麼であつたらう？誰か我子の憎いものがあらう誰か我兒の病を外に見過すことの可能る者があらうに、斯くの如き逼迫した悲慘な生活を誰か好む者があらうぞ？然かも彼の女は之れを實際に體驗したのである。而かもそれが彼の女の運命であらうか、それは彼の女の生活に對する努力の足りないが爲めに蒙つた報酬であるであらうか。況して未だ幼けな彼の女の子供に何の罪があらうに。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY



娼妓病院手記（十一）

前某驅黴院看護婦　田口和子

廿八日（土曜日）

『聞いても下さい。あなたが署長さんにお會ひになつて、私のいろ〳〵な身の上譚をお聞きになつたといふ事ですが、どうせ私の身の爲になるような話は、樓主達の肩を持つ人達の事ですから言ふ氣遣ひはありません。ましてや、御親切なあなたが私の身を廢業させて、自由な身體にして上げやうといふやうな、私に取つては神樣か佛樣かのお助けのやうな嬉しい事は、あちらに取つては鬼にても呪はれたやうに考へてゐなされる事でせうから、署長さんが私の身の爲めになるやうな事を申上げる事がないといふ事も、私は既うから覺悟はしてゐたものゝ、よもやそれほど迄にあちらの肩を持つてゐなさる事とは夢さら知りませんでした。なるほど私が今の身の上に成り果たといふ事に就ては、いろ〳〵こみ入つた事情のある譯て、親の手元から離れて旅館奉公をしたといふのが、何より惡い事だつたに相違ありません。けど、旅館奉公してゐた者だからと云つて、さう一概に惡しざまに罵ることは出來ないではムゐませんか。たとへそれが私の心に惡い根を植付けて今の樣な身の上に陷つたといふ、たゞそれ丈のお考へを持つて、私の願ひを諾き屆けて呉れないのでしたら、いかにお上の役人さんだからと云つて、それはあんまりな仕打ちではないでせうか。『男が出來て、その男の爲めに手切金に窮して、つひあんな境遇になつた、云はゞ身から出た錆て、これ許りは他人の心で推しはかつて見ても、さらに判らない二人同士の惡因から結ばれた、因果の實だもの何うも仕方がない』といふさうですが、それはいくら作り事をして他人を罵るにも程があると思ひます。男が出來たの、手切金が何うだのといふ事から、いろ〳〵六ヶ敷悶着が起つて、とゞの詰りがこの廓に落ち込むで來る人達も、そりやないとも限りません。けれども私が！　私が、そんな浮氣なことから、つい今のやうな身の上になつたと云はれては業腹で堪りません。いくらお上の役人さんが言ふ事だからと云つて、それぱかりは餘り人を馬鹿にした言葉です。決して私はそんな缺合から、こんな稼業に落ちて來た身の上ではないんです。今更そんな分疏をした處で、今の私の身の上がもとの身體になるわけのものでもありませんから、過去つた昔の事は何うとも仕方がないとして、私はそれに就て左や右く泣言などは申しませんが、もとはといへばこれも周旋屋の儲け口に引掛つて、つい深みへ〳〵と落込むで來て了つた爲めなのです。『なあに、お前さん眼をつぶつて物事を諦めてさへ了へば、お前さんの今の慘な有樣からぬける事も出來るし、又た親の一人や二人位を養ふのは全く屁のかつぱといふものだネ。お覧な、つまらない義理張りから毎日碌でもない汗水をたらして働いて、それで親の口さへも滿足に動さしてやる事ができない、そんな馬鹿氣たものがあるに引替へ、とにかく一時の急場を防ぐ爲めに眼をつぶつて、身を落したといふ事から、思ひ掛けない運が向いて來て、死ぬ迄ふた親を左團扇で暮さした健氣なものがあるのは何ういふもんだネ。惡い事は勸めないから、此の場合お前さんさへ眼をつぶつて呉れゝばお互が助かるといふ訣なのだから、一つ思切つてさうして御覧なさつたら何うかネ』さうした甘い言葉で世間に不なれな私を騙したんてす。うす〳〵廓の勤めの辛いことや、廓に身を入れた最後再びもとの明るい世の中に出る事などはなか〳〵六敷いといふ事を聞知つてゐた私は初めの内こそ『何を云つてゐるんだ。この强親爺め！』といふ反抗心があつて、何うしても私はそんな事は出來ないと頑張つてゐたのてす。ところが昔氣質の世間摺れない兩親の私に對する言葉は『周旋屋さんがあう云ふて私達の爲めに心配して下さるんだから、さうしたらどうかね、ねえお前！』といつては、周旋屋が訪れる度每に私に押掛つて來るんてす。ほんとの處は知りませんけど、何ても娘さんがあゝして承知しないのは、まだあの社會を知らないのと、お前さんがた二人が勸めないからだといふやうな意味を言含め、そして何や彼やと、いろ〳〵御馳走にもなつたり、又いくらかの金をそつと握らせられた樣子なんてす。日每夜每に『ようく親の身を考へて御覧』と云つては、詰寄つて來る義理と人情とそして親孝行との强要に會ふ私は、どうしてよいやら我身の處置にほと〳〵迷つたのでした。或時などは、此の娘さんも今度ある廓に行く事になつて、二三日前から斯うして衣服や種々な裝飾品などを買整へてゐる處なのだ、と云つては若い美しい華かに着飾

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

つた一人の傭さんを連れて來て、そして私の耳元に口を寄せて『何うだネ、馬子にも衣裳髪形ちと云つて、あゝ著飾つた處は如何にも立派じやないか。』などゝ、私のやうな貧乏家に生れて、美しい衣服が欲しい、帶が締めたいと考へたり又は泣いた事なども度々あるやうな、女の心の持前であるある淺甚な私の心を虐げて了つたんです。

初めて結つて貰つたおばことかいふ、結ひなれない私の頭を自然と前こゞみにさせるやうな重苦しい油の香の高い髮と、胴體にまつはり着いてしどろ重い美しい華かな衣服と、お腹の痛む程締付けられる大幅のきらびやかな帶と、歩きにくい草履とを突掛けて、だゝ廣い梯子段を昇つたり降りたりする自分の姿を見るやうになつた頃は、それから間もない冷たい地面を吹いて來るひや〳〵した風が、何處から何處へ吹くともなしに、際いて行く秋の中ば頃であつたのです。』

そこ迄語り續けた彼の女は、さうして凝乎と下脣を嚙むでは濕ほへのある眼に泪を泛ませてゐるのです。

此の廓へ身を沈める多くの姉妹達の身の上は、其のひとつ〳〵洗へ消して覲れば、どんな人でも其處には必ず泪に搔きくるゝ悲慘な長い物語がなければなりません。それを思ふとそこに私の聞えてゐる彼の女の身の上話しも、さうした一つの永い過去の夢のやうな譚しには違ひないが、夫にしては餘りに私の心を奪つて了つたんです。平凡な事情、その事情が私の心を捉へた理由の一つには、たしかに彼の女の偽らない、加も心の裏は[illegible]方法に用ひる言葉が上手であつたかも知れないんです。

『いえ、そんな譯ではなかつたんです。周旋屋のいふ事は初めこそいろ〳〵疑ひの眼を以つて聞きもしましたが、だん〳〵混入つた事情や何かを聞くと私の心は、何も彼もその男の言ふ事を信じて了つたんです。『出放題なことをいふのはこの男の商賣のすべての道具だから、それをまるきり信じては駄目です。しつかりして居らなければ駄目です。さうです』といふ囁きが心の奧底でかすかに聞かれる事もあつたが、根も葉もない嘘言をよもやあんなに辻褄の合ふやうな話にはならない、と思ふ心がいつも勝を占めて、しばらく勤めの身となつて此の廓の中の空氣に生きてゐながらも矢張り周旋屋のいふ事を信じてゐたんです。けれども漸次月日が經つに從つて、それはみんな嘘であつた！と自分から氣附いた時には最う彼れこれ一年餘の永い浮いた空氣に身を置く境遇になつてゐたのです。それから種々と思ひ合せて見ると、そこには後から後から續いて、理に合はない不思議な事ばかりが浮むで來るんです。六百圓の金で身を沈める時、其の内の百圓といふ金は周旋屋の御禮として渡され、又百圓はこれはお前が何ぞと入用の時に渡してあげる爲めに貯金にして置くと云つて自分獨りが極めて藏へ込んだその金、これは何うでも良いんだけれど、たゞ世間がさうなのだからそれにならつて終うする丈の事で、何も六ケしい事ではないといふやうな、お互の打解けた心が事の殊著に強い確い證據にして置くと云つたやうな素振りて取交はされた或る二三の證書、是れは確にお前のものに相違はない、だから何時でも着て差支がないやうなものゝ、何かお祭りでもあるやうな場合には、矢張り新しいものでも引掛けないとお前の恥になるからと云ふやうな親切らしい口調で、藏へ處の分らないある金ぴかの刺繍のある重ねの衣服、あれやこれやの事柄がみな疑ひの種となつたので、それとなく探りを入れて見ると、案の上初めから私の生きたこの身體を喰物に掛つてゐたことが判つたのでした。けれども喰物にされる者は私ばかりではないんです。同じやうな方法で辛い悲い思ひに胸を惱ましてゐる者は、廓に居るみんなが誰一人としてさうでないものはないんです。さう氣が附いても、その頃は自暴自棄が半分手傳つて、暗い底知れない世界へ落ちて行くやうな處に身を置かれて居るんですから、もうどうしようも出來なかつたんです。私は淡い憤怒と反抗と半ば絶望がそゝのかす自暴自棄とが一つの渦卷となつて藻搔いても見たんです。いくらもがいても多勢に無勢、それにもと〳〵金の經緯から斯ういふ破目になつた、私どもの身の上なのだといふ事を考へると、それは憤怒したり、反抗したりする事が間違ひであるから此の闇の世界から一歩でも外に出やうとするのには、どんな方法でも手段でも助けて呉れる道があるといふ事を聞けば、是が非でも其の道に行く可く我身の全部を捧げてもといふ氣になるんです。その揚句、さぞ御迷惑な事では御座いませうと重々思はれましたが、つい辛い慘な我身の現在の立場を救つて戴きさへすればといふ氣になつてお願ひした譯なんです。さういふ事情ですから、あなた様がこの私の無理な願ひを聞屆け下すつて、助けて戴けるやうになれるか何うか、そんな事は眞實のところ氣にも止めずに居たのです。こんな身が再び明い世の中に出られる事が出來やうか。若しあなた様が仰言る通りさういふ事になるのなら何故あゝして多くの朋輩が泣きの泪で其日〳〵を送つて居るのでせうか。あれを疑ひ、これを信じ、むしやくしやした心で其の日を送つてゐたのです。只今御伺ひ致しますと、私の事で一度ならず二度も三度も、そして態々署長さんに迄もお目に掛つて、いろ〳〵私の身の爲に御盡し下さつたといふ事であつて見れば、私は此の先、自由になることは出來なくとも、それで私はありたけの滿足なのです。それだのに、お骨折の甲斐があつて、自由になれさうだといふ事を伺ひますと、何だか夢のやうな心地が致しまして、思はず斯うして泪ぐまずにゐられないんです。生みの親と育ての親、孝行の限りを盡さないといふ事は人間の一番惡い事であると、よく人様から仰言れるのでありますけれども、若しほんとうに子の爲めに何もかも馬鹿になつて骨折つて生きて行く親だとすれば、大きくなつたからと云つて、斯して人様の手に渡して、それで平氣でゐられるやうな事が出來ませうか。子を持つ親の心などは、私達のやうな者には、よくは判りはしませんが、どうしてもそれは間違つて居はしないかとしか考へられません。世間が斯うだからの、義理と人情はあゝしたものだ杯と、日頃兩親が言ふのを聞きましたが、それは私のやうなこんな身の上になつた事のない、愚かな人達のいふ事なのではありませんでせうか。』

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

大本敎に就て

長野市　山口義縁（寄）

私は先月號に於て中村古峽氏の大本敎の眞相を面白く拜讀致しました。そして私は以前より大本敎に就て淺いながらも注意を始めました。然し大本敎の敎義、所謂お筆先を見たのでもなく唯だ寡聞の私が新聞や雜誌の上に現れた記事より得た材料に聊か私の淺見を加へて見たいと思ひます。

先づ私は大本敎に對して、考へさせられましたのは軍人に一番信者の多い事てありました。何に基因する事てせう、私の考へは間違ひがあるか知れませんが、斯くも軍人に信者の多いのは種々の原因もありませうが、第一の原因は軍人は單純な思想の所有者てあるからてはないてせうか、彼れ等軍人は軍隊と云ふ一つの雰圍氣な團體の內に、包容され、此の煩雜な社會と交涉を斷れて居るのてありますから、一度社會に出てゝ刺戟性に富んだ社會と接觸したならば刺戟　れて、心機一轉するは免れない事てはないてせうか、なぜかと申しますなら、彼等は階級的觀念の下に組織された生活を營み、そして思想は、軍隊式所謂獨裁的な專制的な思想を以て固て居ります。それに反し社會は日進月步の勢ひを以て進み、今やデモクラシー萬能と迄進んております。彼等軍人は雰圍氣な軍隊生活より、複雜巧妙な一般社會に出てゝ、己の抱く思想と社會的思想とに、大きな距りのあるに驚きます事てありませう。されど彼等と云はず、誰人も先入思想を棄てゝ、新しい新思想を受け入れるには、そこに大きな、決斷力と大なる勇氣とを伴はねば實行の出來ないものてあります。長い間階級的觀念の下に、生活を營みつゝ來たつた者に、それを棄てゝデモクラチックな思想に付けと云へば、彼等に取つては堪へられない一種の苦痛であるかも知れませぬ。そこに於てか現實に强ひ執着を持て居るの徒は去就に迷ふのてあります。如何なる人と申しましても宗敎的觀念を持たない者はないのてあります。今迄無宗敎的の生活を營んて居つた彼等は、茲に於て宗敎の必要を切實に感ずるのであります。宗敎を選擇するにしても、己の抱く思想に、しつくり合ふものを選ぶは人情の當然てあります。て階級的觀念の下に組　された、宗敎に付きたがるは當然てあります舊來の宗敎と申しましても階級的區別を承認する約束の上に成立して居るものてはありますが、特に階級觀念の濃厚なものを選ぶ結果は大本敎を選ぶに至るのてはありませんてせうか、軍隊生活と既成の宗敎とは似寄つた點がある樣に思ひますから、茲に少しく述べさして頂きませう。

既成の宗敎即ち舊來の宗敎に謂ふ所の神佛は超絕的の神佛てありまして、至上の實直てありまして、私共の經驗外に住して思議する事の出來ない、隨て私共の生活とは全然沒交涉なものゝ實在てありました、斯く云へば既成の宗敎の神佛は或は一つの幻影てあつたかも知れません、兎に角既成の宗敎の神佛はかうした超然的のものてありましたから、私共はこれに對して奴隷的の態度を嚴守して、唯此の前に、ひれ伏して哀を請はねばなりませんてした。今の軍隊なるものゝ制度と既成の宗敎が、しきたり、の儀式なり作法なりとは合一してはしないてせうか、軍隊生活に於ての上官の、命は理が非ても服從せねばなりませんてした、例へ辨解の餘地がありましても、抗辯の自由を與へませんのてありました。元來總ての儀式、作法は本來主從關係と云ふものを前提として、階級思想に基き、鄭重な儀禮を以て侍かるゝ主體の有難きを、被支配階級の上に印象するを以て任務として居るのてあります。て軍人が階級的觀念の濃厚な大本敎に就くのは宛然、水の低きに付く樣にその行爲の正か邪かを判る餘裕を失ふのてはありませんてせうか、兎に角今や、大本敎に對して世論が喧しくなつております。之れ等軍人階級の樣に無宗敎狀態の生活を、爲しつゝあつたものに、宗敎觀念を與ふるには、善導する要が、あると思ひます。

一般人が、どうして舊來の宗敎を棄てゝ、新興の大本敎に、着くかと申しますは大に考慮する必要があると思ひます。或る人は共產的なるが故にと評した人もあります。或は一理あるやも知れません。けれども、之等の說は私をして首肯させる事が出來ませんから一言させて頂きませう。

先づ私は將來の宗敎即ち既成の宗敎は、今を一轉機として改造せねばならぬと思ひます。斯く申しますればとて、決して新しきものなきものに、優されりと云ふ筆法からではありません。具眼者でない私にはどうしても、さう見へてなりません。勿論大本敎の如き迷信詰めのものは、廓淸するの要あるのは言ふ迄もありません。けれど今の宗敎は餘りに方便に出來過ぎております、餘りに超自然過ぎます。宗敎に言ふ所の神や佛は、知覺と概念、悟慾と理想、社會と個人、神と人間等の對立的性質は悉く便宜所謂方便に依つて、眞の實在の作用より、抽象され定義されたものではありますが、餘りに吾々生ある人類とは沒交涉すぎます。どう考へても改造せねばなりません。これからの宗敎はどうしても宗敎の方から、吾々の生活へ接近せねば駄目てす。今の樣に物質文明の發達した、時世に人間を宗敎の方に近付けやうなぞとは、到底不可能事てあります。て宗敎が人間に近付くには宗敎が改造されねばなりません。茲に於きまして改造の一要件として、今迄の、どの宗敎もが取り來たつた、禁欲主義は、利欲主義と改めねば駄目てあります。そして近代的の宗敎乃至は將來の宗敎に於ては、前に述べました樣な、神に對するかうした獨裁的な專制的な觀念は斷じて、許されないのであります。私の今思つて居る、宗敎に謂ふ所の神佛は內在的の神佛てあらねばなりません。言ひ換へれば吾人の自我其物が神佛てあられねばなりません。

私は此所迄來て切實に思はせられましたのは、今の宗敎家は、なぜか大本敎に對し、非難しつゝ己の信徒の失ふを見て、商賣敵の樣な態度を持して、己の外を認めない事てあります。之れ等の人はなぜ、己の信徒の失ふの原因を究めないのてせうか、他のものに乘ぜらるゝは、そこに何か缺點が伏在して居るのてはありませんか、私は言ひます大本敎に乘ぜられぬ爲めには大本敎以上の宗敎を造られば駄目てありますと。

（終）

Digitized by Google　　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

編輯之後

■秋が來た。涼しい氣持のよい秋が來た。活動家には活動に適し、讀書家には讀書慾を唆り、鉄砲道樂家には獵期到り、百性には特に收穫の好期節が來たのである。眞ン丸く曇りもなくて眺めの良いと昔から言はれて居る仲秋二八の月見も濟んだ。交番の巡査の衣變も濟んだやうである。此の時吾々サラリヤートは何を收穫なし得るだらうか。でも何物かを世間月並にも收穫しなければなるまい。

■今年は珍らしい事があつた。實に我が國開闢以來の事で、秀吉如何に智者であつたとしても、家康また不世出の英傑であつたとしても假令彼等が正一位の贈位を受けた神樣でも嘗つて享けない恩遇に我々七千萬同胞は等しく接したのである。十月一日午前〇時に行はれた國勢調査即ち之である。畏くも上御一人を始め奉り下萬民人語を解しない新發見の秩父山中の炭燒も、セメン樽に巢喰ふ浮浪者も一人も洩れなく同じ樣式で國家の一員として、お調べに預つたことである。

■幸にして當初の理想通りの調査が出來たかどうかは別問題として、誠に空前の事柄であつたこと丈けは事實である。願はくば淺草の十二階より高きこと百何十尺とかいふ偉い紙屑山を築かずんば幸である。然し甫めてだからといふ點に強味はある。

何事によらず政府の遣り方は甘いものだ何時だつて逃げ道は備えてあるのだから、

■問題は違うが勞働問題に功があつたとかで華族さんになる。一體怎麼事をしたのかと見れば何にもしては被居らぬ。八百長の委員を外國に遣つた丈けらしい戰時の財政にどうとかと言つて子爵になつた御仁もある定めし財界の亂調子振りが良かつたのかも知れない。お蔭でプロレタリヤートは泣かせられた。

不完全なと評判されてる工場法を作つて改正說も傳えられてる樣だが、あれで博士になつた御仁は怎麼氣持て今頃は被居ることやら。餘まりお爲めごかし獨りよがりの政府は休み〲やつて貰い度いものだも

■それよりも我々に緊急なのは生活問題の解決だ。一體生活問題といふやうなことは吾々の生れた時口を持つて出たのは食うといふ事が既に決定されて食ふべき方法であり、その機關として吾々に口が着いて來たのではあるまいか、生まれ出てから食ふの食はないの食はせろのと騷ぎ廻はる譯のものではなかつたやうに思はれる。人の儲けるのを兎や角言ふのではないが人の口を奪つてまで己の腹を肥す人の無い時代が來て吳れさえすれば此麼面倒な聞き憎い辭も聞かずに濟んでお互に笑つて過ごせるものを。

■それでも生血を吸つて舌鼓を打つものよりは少こしは可愛ところもあるかも知れぬ。彼等は直接に個人の血までは吸はないのかも知れんから、彼の娘子供を誘拐してシンガポール邊りへ送り可惜人間一人を全く犧牲に供するやうな直接個人に迫害を加える者よりは社會の各人が間接に分け前を頂戴するのだから或は罪も輕いかも知れない。

■ところで今度シンガポールから遙々故國を指して久濶振りに從來出稼して居た女達が歸つて來るといふことであるが誠に結構なことだ、一體女の出稼も商業に從事するとか何とかなら可いが、兎角日の丸の旗の先がけは島原女、醜業婦といふ定評があるのでは余り國家の慶事でも國力の發展でもない、國家としては之れ以上の不名譽の事はないのである。然かも之れ等が悉く血を吸る鬼の手からだとすれば個人に對しては實に可憐なことである。今度歸つて來るといふ事は彼等個人としても我國家としてもお芽出度い次第だ。

■鬼といふ字を使つた序に大東京の眞晝の鬼を紹介する生憎私共男性には一寸眼に付かず甚だ迂遠な話だが今日まで過ぐして居たのであるけれど、先達て或る婦人に會つた處意外な話を聽いて驚いたのである。眞に意外な話であつたが段々說明を聞ひて見ると實際であらうとも肯かれた。否先方の婦人は實に其の被害者の一人だつたのだ。それは電車の中の出來事である。それ丈けで、婦人讀者には成る程と氣付かれる方もあるだらうと思ふが男子の方の爲めには一言說明の勞をとると仕樣。それは二つの場合に分類出來る。

■婦人乘客と車掌。乘客同志。此の二場合だそうなが第一の場合は切符を車掌が婦人に渡す時、切符を渡す動作と同時に切符に隱れて密かに摘まり切符の下から相手方の婦人の指(手？)を握るのである。それから後者の場合は此れはよく新聞の三面記事に表はれる事實と同じやうな事であるから略すとして、一體吾々が無教育な車掌に人格德育を注文するのは聊か無理かも知れないが電氣局としても切めて職責に就いての觀念は技術よりも深く教育して貰い度いものだ。幷うすれば自然此麼事はなくなる筈である。現在幷麼事が市內の重要な交通機關の中で白晝行はれて居るとすれば、婦人乘客の迷惑は一方でない計りでなく風紀取締上重大なる問題である。記して特に當局の猛省を促しておく。

■夫れから此れは機會を得て述べる事とするが巡査が戸口調査に隱れて不良少年の手先に使はれ、若しくは自ら不良青年であつた場合の事實談もあるが事警視廳直接の責任に關はる事であるから、紙幅の限りある此の欄では略すとして、帝都の警邏に當つて居る彼等の中にも不良の徒のある事は實際である事丈けを述べて特に婦人讀者並に娘の親たる方々の爲めに御注意と御警戒を促して筆を擱く。

——(圭英生記)——

大正九年十月十日印刷　(每月一回十日發行)
大正九年十月十日發行　(一部定價金二十錢)

編輯兼發行人　神田區今川小路一丁目三番地　伊藤秀吉

印刷人　小石川區大塚窪町一番地　久保民生

印刷所　本郷區眞砂町三十六番地　日東印刷株式會社

發行所　神田區表猿樂町十番地　廓清會發行所
電話神田四〇二〇番
振替東京二七〇七二番

◉廣告主へ御用の際は必す雑誌「廓清」による旨御申添を乞ふ●

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori, Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

Dr. K. TAKATA

Within a few minutes from the Chigasaki Raiway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone: Chigasaki No. 2.

副長（新任） 醫學士 岡本鑑雄

診察毎朝（但祭日及日曜の他）

院長 診察、月、木、金午前及木午後六時

林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附上）

電話九段（六六二番 六六三番）

東洋内科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

相模國茅ヶ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後 入院診後應需

診察毎日午後 但祭日及日曜の他

◎募集――看護婦志願者及雜事婦

（大正七年十一月一日第三種郵便物認可）（毎月一回十日發行）
（大正九年十月十日印刷納本）

大賣捌所
東京堂、東海堂、上田屋、警醒社、北陸館、良明堂、

定價一冊金二十錢